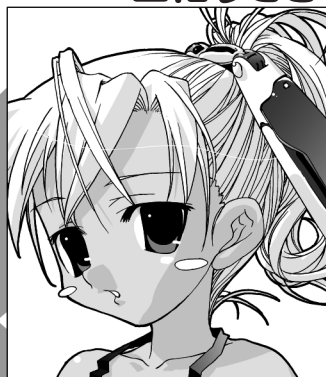
月刊

INDEX

SEASONLY LIARMARU

COVERGIRL

因幡（いなば）うさぎ

楽しい夏、送ってる？　まだまだ諦めるのは早いよ。街には出会いが溢れてる、君を待っている子がきっと居るはずさ。嘘だけどな。

月刊

ラブ・ネゴシエイター音声収録リポート

真夏の窒息サウナ地獄でダイエット編

　今回も入ってます、声が！　声が！　声が！
『サフィズムの舷窓』で調子に乗った……いや、確かな感触を得たライアーソフトとしては、ぜひとも最新作の『ラブ・ネゴシエイター』でも音声を使いたいところ。一度、レールに乗ってしまったらもう戻れない、降りられない、そんなジェットコースターか、はたまたブレーキレスなトロッコか、デフレスパイラルのさなか、自らの足を食らってでも拡大路線を続けるしかないゲーム業界の厳しい現況にのっとって今回も音声入りです、ライアーソフト！　やったぁ、声だ、音声だ、声優さんだ☆　鬼のようなスケジュールをねじ込みつつ、今回もお世話になりますロックンバナナ様☆
　さて、今回の収録日程は７月の中旬……つまり、日本中が記録的な猛暑に襲われていた真っ最中のことでした。連日、７月の過去最高気温とかの記事を読ませられる、まさに火の国日本。ふぅ、熱い夏だぜ。
　そんな中、始まった音声収録。都会の熱に茹でられながら、新宿からロックンバナナさんのある江古田へ向かい立ち会いのためスタジオ入り。今回の決戦の地は……、あ、涼しい。さすがに冷房がきいてる。ここでひやひやされながらなら、充実した収録ができるなぁなどと、出されたお茶をいただきながらのほほんと思ったり（お茶の銘柄は違うけど。生茶？）。しかし、この考えは甘かった。いや、我々は甘やかされていたのだ。その現実をもうすぐ突きつけられることなど夢にも思わず、ソファーに座りながらドタバタと台本をチェックしているのでありました……。現実については後述するとして、早速、リポートの方に行ってみましょう！　ちょっち前フリ長かったしね。

第１番　本山友美さん（日向一重役）

　世間知らずなミステリアスガール……と言えば聞こえはいいものの、一歩間違えれば、かわいいけれどかわいそう、なキャラクターになってしまう日向一重の収録からスタート。キャストは本山友美さん。『サフィズム～』の時にはサイケデリックジャンキー娘、アンシャーリーをお願いしているだけにこちら側には怖いものはない。よゆーよゆーと思っていると……。うぉ、イメージそのままだ！　しかも、低めにコントロールされたストレートは、ローボールヒッターまっしぐら、な感じだ！　……ロリコンハードボイルド制作委員会会長を連れてこなくてよかった、未然に防がれた不祥事（どんな？）に胸をなで下ろしつつ、適度にはさまれた休憩ではいろいろとお話しさせてもらいます。……心なしか、本山さん、汗だくな上に、呼吸が荒いような気がするんですが……。それだけの熱演ということなんでしょうか！　……その時は何も知らずただ、目頭を熱くするばかりだったのです……。
　続けて、本山さんにはもう１キャラ日向一重のお姉さん役もお願いしてしまいます。ここでは本山さんの河内スピリッツが炸裂！　ぽややんファニーな一重とうってかわって、べらんめぇに（河内ちゃうやん）まくしたてていただきました。でも本山さん、明らかにこのキャラで生命力を削り倒していたような……。このキャラクターの活躍はゲームをお楽しみにねっ！　ということで。その熱演は要チェックだ！

第２番　かわしまりのさん（倉持浩子役）

　二日目は熱血甲冑娘、倉持浩子。友達は正義と勇気、な元気印の彼女が、自分の中に芽生えた恋心に気づき、いつの間にか少女に変わっていくという難しい役どころ。……いえ、収録するのはほとんどHシーンなんで、そういうとこはすっ飛ばしているんですけどね。かわしまさんがイメージをきっちり作ってきてくれたので、若干の修正で声あわせは終了。少年のようであり少女でもある元気な倉持の声が完成。うう……血へど吐いて収録台本を先行納入した甲斐がありました。と言っても数日（ちょっと誇大）ですけど。今日はシナリオを担当している天野佑一が同行。「俺は何度か、こういう現場を経験していますからね」なんて横顔で決めつつ言っていたが、実際、収録が始まってみると……。声優さんの演技が、こちらの意図と食い違っていた場合、ディレクターさんにお願いして止めてもらうんですが、声をかけるタイミングがけっこう難しかったりします。天野君の場合、何か思うところがあるのか、はっとチェックしていた台本から顔を上げます。オタオタとキョロキョロします。声をかけたいのか、口をパクパクさせます。終いには、すがるようにこっちに視線を送ります。……待てコラ、ちょっと前の余裕の一言はなんだったんだ！
　そんな愉快な一幕もありつつ、本日の収録もあと少し。休憩のため、かわしまさんが消耗しつつもスタジオから出てきた頃、音声プロデューサーのMas Sawadaさんから衝撃の真実が！　詳しくはコラムに譲るとして、残すシーンは怒鳴り愛……もといネゴバトル！
　大丈夫ですか、かわしまさん！　そんな、無茶だ、あなたの体力はもう！
　心配する我々にプロの背中を見せつつ、かわしまさんはスタジオの中に消えていったのでした……。

第３番　室井あづささん（明石亜美役）

　連日３０度を超す猛暑の中、スタジオの中もますますヒートアップ！　そりゃそうです。音も空気も漏らさぬ作りでは換気もできるわけありません。つまり、人が入れば中の温度は上がりっぱなし。ますます生命の危機が近づく中、本日の収録はヒロイン中もっとも内角高めの明石亜美。キャスティングの室井さんは……、「新人の室井あづさで～す」、……いい感じにハイテンションです。これで元妻という微妙なポジションは大丈夫なのか！？、またしても我々はキャスティングをミスってしまったのか？　と思ったのも一瞬、声あわせから収録に入って心配は完全に杞憂に終わりました。元夫の栄太とのつかず離れずな位置関係をポン

収録のひ・み・つ
ロックンバナナ手作りスタジオ死の恐怖！

　今回の収録が行われたのはロックンバナナさんの個人用決戦スタジオ（勝手に命名）。一人録り専用、というか、一人座ればもう立ち見も入れないコンパクトな設計。音声の収録の最大の敵は雑音。外部からの一切の音を遮断するため，その扉は非常に堅牢なようで声優さんを閉じ込める，ちがう，スタンバイさせるたびごとに，ディレクターのTK.TAKAHITO氏が，ダイエッター女性の嫉視を集めかねないその細腰の体でぶつかるように扉を閉じていました。
　しかし！　Mas Sawadaさんの証言によるとこのスタジオ，シャットアウトできるのは雑音だけではないとのこと。なんと空気の流れまで見事にシャットアウト。つまり，このスタジオに入ったら最後，酸素は２立方mに満たない空間にしか存在しないのです（制限時間１時間）。人間はその生命活動のために炭酸化合物を燃焼させます。その燃焼に必要な酸素が，供給されない！　つまり声優さんはこのスタジオに入ったら最後，命をかけて演技をしてくれているわけです。す，凄いぜ！
　改めて，声優さんのプロ根性に敬服。
Mas Sawada氏「酸欠で心拍数があがった方がいい演技がとれたりするんですよね」
　怪我の功名っすね！　ちなみに，このスタジオ手作りだそうです。それもすごいや。

ポンとこなしていきます。とにかくアップテンポ、ＮＧ申告も演技修正も速い速い。「疲れた、休憩！」、……いや、速い。
　最速ラップで周回をこなしつつも、多芸な面も見せていただきました。各シーンごとにわけられた台本を収録する時、シーン名をクレジットとして言ってもらうんですが、その声が全部違う！　「明石陵辱Ｈモノローグ……」「ねごばとる、だいろくば〜ん！」とまるであの狭いスタジオに何人もの室井さんがいるのかと錯覚させるようにコロコロと変えてくれます。いや、お見事でした。後日、納入される音声の中にこのクレジットボイスもいれてくれたらよかったのに……。残念だけど入ってませんでした。ちぇ。

第４番　歌織さん（北村はるか役＆ナタリア役）

　もはや、今日も暑いですね〜、なんてことしか挨拶になりません。月間レコードを更新し続ける毎日、今日も元気に収録でーす。しかも今日と明日は一日で２キャラ、収録します。こちらも二人体制、音声収録立ち会いデビューの高尾登山と一緒に臨みます。
　２キャラ録りといってもやることは一緒。キャラクターの声をかためて、台本を順番に読んでいきます。これを２回繰り返すだけ……、と思いきや、これが意外な人物に多大な負担をかけていたのです。それは誰あろう、スーパーディレクターＫとこっそり陰で呼んでいる、ディレクターのTK.TAKAHITOさん。今日のここまで毎日、夕方近くになると、どうも口数も少なくなってきていて、お仕事大変なんだなぁ、仕事させてるの誰やん、と我々も一人ボケツッコミをして気にしていたのですが、その原因が今日、判明。なんとTKさんはラブネゴ目玉の一つ、陵辱ルートの収録に心を痛めていたのです！
　ライアー初挑戦の陵辱ルート、シナリオ総指揮の天野佑一が考え出した珠玉のシチュエーションに従って、シナリオスタッフが好き放題やりました。高尾登山あたりは、「あれでもまだまだ」と言ってましたが、手応えを感じてみたいものではありました。いや、しかし、その弱っていく様子を見て、少なくとも、ここにいる人にはダメージを与えられたんだなぁ、と感慨にふけってみたり。
　２キャラ録りということは、そのダメージが一日２回、回復する暇もなしということです。……ご愁傷様です。氏曰く、北村は「痛い、痛するぎ」、ナタリアは「ひどい、ひどするぎ」とのこと。とりわけ、ナタリアのシーンにダメージを受けていたようです。確かにあれは、スタッフ内でも一番ひどいって言ってたしなぁ……。
　お姫様に少女探偵と２連ちゃんでこなしていただいた歌織さん、お疲れさまでした。あきらかにあなたがいちばんタフでした。どちらも、ちょっと少女というイメージからは離れていながら、少年というわけではなく、それぞれかわいいという役所。１歳刻み、で声の年齢の調整を要求してしまいました、てへ。応えてくれた歌織も歌織さんですが。今更ながら、こちらの無茶な要求を軽やかにこなしてくれる声優の皆さんには感服するばかりです。

> **収録のひ・み・つ**
> **ピーッとアレな禁止音声にまつわる話**
>
> 　ユーザー様には切なくももどかしい話ですが，エッチＣＧにモザイクがあるように，音声にも修正音があります。なんでもかんでも無修正でいけるほど日本はまだおおらかでも自由でも開放的でもありません。健全な青少年を育成し，明るい未来を作るため，避けて通れぬ自主規制。ライアーソフトができる社会のための行動です。
> 　前回の『サフィズム〜』の時は，伏せ字カッコ悪いのキャッチのもと，伏せなきゃならない言葉はなるべく使わないという方針だったのですが，今回はモノローグモードもあることだし，避けて通れぬ展開となりました。
> 　実際のところ，収録台本にはそのまま書いてありますし，声優さんにもそのまま収録してもらいます。あの天から鳴り響く，ピーッという禁止音は編集段階でいれてもらっています。伏せ方も様々らしく，一文字分だけ音をかぶせる場合、その言葉全部にかぶせる場合，音も電子音だったり，大砲の音だったりいろいろです。聞いた話ではこういうケースもあるとのこと。
> 「例えば，シナリオで『クリ○リス』って書いてあった場合，声優さんに伏せてある字を抜いてしゃべってもらうんです。『クリ（一文字分の空白）リス』って」
> 　そ，それは大変そうだ！　自分でピーって言うというのも耳に挟んだことがあります。大変ですね〜。

第５番　長崎みなみさん（桜井さちえ役＆滝みゆき役）

　本日も２キャラ録り。前日の理由でTKさんのＳＡＮ値の残り具合が気にかかります。
　まずは、情報公開後、あらゆる方面から心配されたキャラクター、滝みゆきから。大手ボーイズ系同人作家にして、語尾に「にょ」とか「りゅん」とか「にゃの」とかついてます。はたして、こんなとんでもないキャラ、演じてもらえるんでしょうか……。
長崎さん「大丈夫ですよ〜『にゃの』って語尾ならやったことありますし」
　すいませんごめんなさい、知ってて頼みました。というより、最初は「にょ」と「りゅん」だけでした。キャスティングの希望をとった後、いつの間にか「にゃの」が増えてました。誰だ増やしたんは。
　私達の心配も杞憂に終わり、この変なキャラの収録もサクサクと進んでいきます。体験版の主役なだけに、音声も多めなんですが……「エンイー！」「逝ってよし！」……いったい何に使う音声なのかは、お楽しみにってことで！
　続けて、大家の娘、エターナル喪服ヒロインこと桜井さちえ。ここで長崎さんの得意技が炸裂！　さちえが酔っぱらうシーンを収録したのですが、長崎さん、スタジオの中で一杯ひっかけてるんじゃないかと思うほどのみごとな酔っぱらいっぷり！　本人曰く、酔っぱらいのシーンでＮＧを出したことがないそうです。いえ出ませんって、あそこまでやられちゃぁ……。あっという間にそのシーンの収録を終えて、スタジオから出てきた長崎さんは……しらふでしたよ。ホントダヨ。

第６番　荒川まことさん（高将太郎役）

　前回『サフィズム〜』では決してできなかった夢が、実現しました。男性キャラにも声が、声が！　……ふつーいらないかぁ……。
　とはいっても、ラブねごのキモは魂の主張のぶつけあい、ネゴバトル。お互いの信念をかけて罵倒しあうのに、音声がなくては話になりません。かくして、お兄ちゃんこと将太郎にも晴れて音声が。
　収録が始まってから、あらためて声がある喜びを再確認。なんというか、えも言えぬ悪役の、妖しい魅力が漂ってきます。いやらしさにギトついているわけではなく、かといって、甘っちょろい爽やかさでもなくこう、俺は自分で納得して悪いことやってるんだよぁみたいな声です。あの、語尾が、もう、こう！
　今日はTKさん曰く「スタジオの冷やしが足りなかった」そうで、荒川さんも汗だくになりながら、将太郎役を全うしていただきました。

第７番　新藤正輝さん（根越栄太役）

　堂々登場の主人公（役）。前回、怒濤の音声数で反省したことは、主人公にまでしゃべらせると音声数がまあ大変、ということでした。だのになぜ、今回も主人公がキャスティングされている！
　さておき、新藤さんはメットを片手に颯爽と登場。将太郎役の荒川さんと

収録のひ・み・つ
あなたしか知らない世界　エロゲー特有のイントネーション

あなたは，『エロゲー』ってどう読みますか？　てな感じで，いつのまにやらアダルトゲーム，１８禁ゲームにかわって共通語になってしまった感のある言葉。しかし共通語といっても一部限定。認知度はギャルゲーよりも低いでしょう。
で，発音なんですが，たいていはフラットに，やや山なりに「エロゲー」，と発音すると思います。が，一般的に「エロ」は語尾をさげます。これにゲームを省略した「ゲー」をつけると……。「エロゲー」と一度「ロ」で落として，「ゲー」をちょっと戻してフラットに発音します。りぴーとあふたみー，「エロゲー」。……文字で書いてもわかんないって！
とまれ，この言語の壁に徹底的にぶち当たってしまったのが荒川さん。なんでそんな単語を十数回も連呼させたのかはおいといて，この言葉が台本に登場するたびに，ＮＧが出てしまいます。なにか，こちらが申し訳なく思えるほど。聞けば，ゲームの音声という仕事はほとんど経験がないとのこと。はっ！？
「エロゲー」ってやっぱり一般的な言葉じゃない！？　それを日常的に使ってる私達って……（さりげに複数形）。何か，汚れている自分を感じてしまいました。

情報交換をしていたらしく、スタジオの中が半端でない暑さであることを知っている模様。ずばぁっと半ズボンに着替えて突貫していきました。中年（といっても３０代だけど）でしかも二枚目半なんて、よくある設定だとしても、少なくともエロゲーで見たことはありません。ましてや声など。私達ってとことん勇者だなぁ。
さておき、２．５枚目主人公のコンマ５の部分もバッチリ出してくれた新藤さん。く、出番の少なさが悔やまれます。荒川さん、新藤さんの声をもっともっと聞きたい方は、ぜひ、ＦＣ内『ライアーブルー設立委員会』までお便りを！

第８番　春野日和さん（岡田勇気役）

『ラブ・ネゴシエイター』のメインヒロインの座を滝みゆきと争う、岡田勇気の収録日。『サフィズム～』ではコーの役を演じてもらった春野さんだけに、ロリコンハードボイルド制作委員会会長は本気で行きたがっていたが、体験版収録シナリオが未完成のため血の涙を流してリタイア。
元気者未発達少女幽霊というわけのわからないキャラクターにもきちんと声をあわせてきてくれるのはさすがの一言。
今回は、収録前に台本と資料をどっさり渡して、事前に声優さんにキャラクターのイメージを作ってきてもらっていました。あとは、収録当日に微調整するだけですむので楽ちん楽ちん。微調整といっても、こちらからは「ちょっと明るく」とか、「もう２、３歳若く」とかファジーな指示しかできませんけど。キャラクターだけでなく、一つ一つのセリフにまで、こんな曖昧な注文が飛ぶんだから、あわせてくれる声優さんも大変だなぁと人ごとのように思ったり。
そういえば、収録中の会話。TKさん「このゲーム、ハードボイルドなんですよね」「ええ！」TKさん「岡田ってすごくちっちゃい女の子じゃないですか？」「そうですね！」TKさん「他にも、設定された年齢に見えないキャラ多いですよね」「かもしれません！」TKさん「というより……」「ロリコンハードボイルドですから！」……いえね、なるべく私をそんな目で見ないでほしいんですよ。キャラクター設定したのは別の人間なんですから……。

第９番　草柳順子さん（三島のぞみ役＆滝良介役）

本日は収録最終日。高尾登山がなぜかいる。体験版用のシナリオはあがったんですか？　まだ？　……なんでいるねん……まあ、本日収録のキャラクター（良介）を担当しているからだけど。
歌って踊ってクーデターも起こせる国民的アイドル、三島のぞみ……キャラクターのネーミングについては、誰も何も言わなくなってきました。最初は広末涼子みたいな親近感の持てるアイドルを想像していたんですが、シナリオ担当の天野佑一によると、「みんなー、元気に国防してるー？」「イ゛エ゛ー！」みたいなものを考えていたとのこと……そのセンスって……。ともあれ、そうと決まればそうと、さっそく草柳さんに演じてもらいます。高いトーンの声がまた、適度にしたたかで適度に後先考えていない三島によくあいます。
続いては滝良介の収録に。しかし、聞けば草柳さん、少年の声はやったことがないとか。あれ？　TKさんもそのへん、不安を感じているようです。むむ、なんかピンチな感じ？　スケジュール的な問題もあいまって、もし、満足のいくものができなかったら、この場にいる誰かがスタジオに入らなくてはならないのか？　そうか、そのために来たのか、高尾登山！　登山「絶対違う」。やる気十分だな！　登山「だから違う」。
いざ、収録。出てきた声は……。おどおどしててなよなよなくせに、立派なゲイボーイという良介の声でした。誰だ、いらない心配をしてたのは（私だ）。えらくスムーズに収録は終わってしまい、出てきた草柳さんに聞いてみたところ、弟さんが草柳さんの声にそっくりなんだそうで、そのイメージもあってやりやすかったとのこと。そうか、今の声は弟さんで、良介だったんですね！（いや、違うって）

かくして、無事に最終日も終了。全体的に、えらくスムーズに進んだ収録でした。猛暑の最中、素晴らしい声を出していただいた、声優の皆様に大感謝。いろいろ無理な注文を軽やかにこなしてくれたロックンバナナ様にも大感謝。そして、陵辱シーンで精神をすり減らしながらも演出に魂をかけていたTKさんに、改めて大感謝。仕上がった音声は、立派にゲームにしてみせます。ユーザーの皆様も、『ラブ・ネゴシエイター』の完成をお楽しみにお待ちください☆

収録のひ・み・つ
収録台本大プレゼント！

今回の読者プレゼントはひと味ちがうぜ！
なんと，収録で使用した台本そのものをプレゼントします。もちろん，声優さんのサインいり。サインをいれていただいた表紙をめくると，そこには直筆の書き込みも！　振り仮名がふってあったり，赤ペンでチェックがしてあったり。細かく分析すると，どこでＮＧがあったかもわかっちゃったり，台本の誤字脱字もバレバレだったり。外秘扱いバリバリの内部資料ですが，怖いものなく大放出！
女性キャラなら，なんとＨシーンの台本です。放送禁止音はもちろん入ってません！
１キャラクター１名様のみのプレゼント！
このチャンスにぜひ！
お名前，ご住所，電話番号，年齢に，以下から希望するキャラクターを書いて，『ライアーＦＣ台本プレゼント係』まで，郵便かＥメールでご応募ください。〆切は９月末日！
ご応募お待ちしております。

- 根越栄太（新藤正輝さん）
- 岡田勇気（春野日和さん）
- 明石亜美（室井あづささん）
- 桜井さちえ（長崎みなみさん）
- 日向一重（本山友美さん）
- 滝みゆき（長崎みなみさん）
- 倉持浩子（かわしまりのさん）
- 北村はるか（歌織さん）
- ナタリア・リフストスカヤ（歌織さん）
- 三島のぞみ（草柳順子さん）
- 滝良介（草柳順子さん）
- 高将太郎（荒川まことさん）

■ロリコンハードボイルド制作実行委員会会長、天野佑一のラブネゴ制作日記

——すみません、滅茶苦茶にしてしまいました。旅に出ます。探さないでください。

根越「……なんだ、これは」
ジム「うむ。実はこのコーナーを執筆するはずだった、シナリオ担当の天野が逃げてしまったんだ。この書き置き一枚残してな。まぁ幼女萌えのペド野郎がシナリオを担当するってのが、どだい無理な——」

ドギューン！（銃声）

根越「おやっさんっ！」
ジム「ガハッ。な、なんじゃこりゃあああっ（死亡）」
将太郎「ふっ、天はロリの上にペドを作らず……。人を性的嗜好で差別するとは警察も地に落ちたな」
根越「に，兄さんっ，だからといってなぜこんな事をっ！」
将太郎「落ち着け栄太。今はまず、この記事を埋めるのが先だ」
根越「くっ……確かに。だがどうやって埋める？　シナリオ担当が逃げたのは今日、つまり締め切り当日なんだぞっ」
将太郎「そうだな、とりあえず音声収録日誌は、睦月たたら氏に執筆してもらい我々はゲームの内容について解説して行こうではないか」
根越「で，では，このゲーム一番の売りである，ネゴバトルから……」
将太郎「馬鹿者っ。そんな事はウェブや体験版でさんざん説明されているわっ！（発砲）」
ジム「ぐはあっ」
根越「お，おやっさん！」
ジム「わしはもうダメだ……栄太，さちえを頼む。ガク（再び死亡）」
将太郎「もう漫才は終わったか？　話の続きだが，今回は会報ならではの制作裏話などを，ヒロインからの質問に答えると言う形でやっていきたいと思うのだがどうかな，栄太」
根越「仕方ない。それでいいだろう」

○ホントにハードボイルドなの？

亜美「じゃ，まず私から質問させてもらって良いかしら」
将太郎「ダメだ。既に賞味期限の切れた女の質問など、受け付ける気になれん（嘲笑）」
亜美「な，なんですってぇっ！　私のどこか賞味期限切れだって言うのよっ！（発砲）」
ジム「ぐはああっ！（三度死亡）」
根越「おやっさんっ！」
将太郎「ふっ，三十路近い女の言うことなどまともに聞けるか」
根越「に，兄さん。もしかして——」
将太郎「その通りだ、諸君。私は幼女が好きだ。諸君，私は幼女が好きだ。諸君私は幼女が大好きだ。美沙緒が，銀河がさくらが，魔神め（以下略）」
根越「——とりあえずアレは無視して話を進めよう。なにか質問がある人は？」
一重「はーい。おじさま。オープニングムービーに出てくる『ロリコンハードボイルド製作委員会』ってなんですか」
勇気「あ，それあたしも聞きたい。なんか収録日誌の所じゃ、あたしロリキャラ扱いになってるし。このゲームってロリータものなの？」
根越「いや，そんなことはないぞ。前回の会報にも書いたが，シナリオそのものは「萌え」の要素を一切廃したビターテイストな大人のメルヒェンだ。ただ，天野個人がロリ野郎ってだけで」
亜美「本人は否定してたわよ」
根越「一応，確認の電話はしたんだぞ。料金未払いでつながらなかったけどな」
さちえ「本当に貧乏なんですねぇ」
根越「そうか？　電話なんて普通は止まってるだろう」
勇気「そりゃあんただけよ」
根越「……とにかく、このゲームはロリータものじゃないって事は納得してくれたかな？」
さちえ「そうですかぁ？　でも，出てくる女の子、あたしと亜美さん以外は，ほとんどみせい」

しばらくおまちくだだい
※ライアーのゲームは全てソフ倫の倫理基準をクリアしています

○凌辱モードについて

勇気「そういえばさぁ，このゲームってライアー初の『凌辱モード』があるんだよね」
根越「別に初って訳じゃないけどな。ちょーイタでもやってたし」
勇気「でもちょーイタの外道ルートは，もう少し爽やかだったわよ」
根越「それは褒めてるんだか貶してるんだかさっぱりわからんぞ。またツトム少年がやさぐれたらどうするんだ」
勇気「だってナタリアさんとか，すっごい酷い目にあってたもん」
亜美「ナタリア担当の高尾登山さんは，『ライアー凌辱王』の称号を手に入れてとても嬉しそうに凹んでたわ」
ナタリア「それは妥当な称号だな。許可しよう。だが私は一体どうなるのだ」
根越「それは実際に凌辱されてみないことには……」
ナタリア「相変わらず無茶を言う」
根越「——そういうわけだから，イベントとかで登山さんの姿を見かけたら，みんな凌辱王って呼んであげてくれ」
勇気「あたし，しーらない」

○略称な

一重「あのぅ，ところでこのゲーム，なんて呼べば良いんですか？　ラブ・ネゴシエイターだと，長すぎるんでぇ，短くして欲しいんですけど」
亜美「ラブネゴじゃダメなの？」
一重「でも，体験版で，そう呼んだヘンな人が怒られてました」
根越「アレはみゆきが『ラブねご』って略したからなんだが」
勇気「ネゴをひらがなにすると，とたんに講談社漫画賞受賞作品ちっくになるもんねぇ」
さちえ「でも，その方が良いかもしれませんよ。間違って買う人がいるかもしれませんし。映画の世界にも同じようなものがあるじゃないですか，ランボー者とか，エロチックパークとか」
根越「さち坊……お前，ろくな映画みてねぇな」
勇気「シナリオの人は，むしろ『ラブねご』って略したがってたけど，広報の人に実力で阻止されたんだよね」
亜美「それは広報の人に感謝しないと」
根越「シナリオの天野は，まだ諦めてないみたいだがな」
勇気「うん。２ｃｈにスレッドたててやるって息巻いてた」
根越「そういう抵抗しかできないのか……哀れな奴」

○まとめな

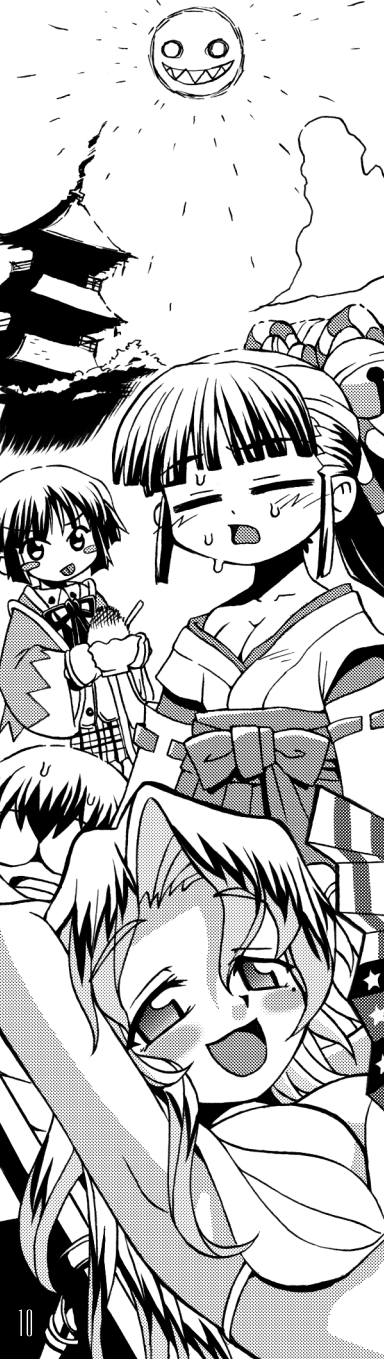
根越「と，まぁ，今出せる情報はこんなトコかな。」
亜美「こんなトコって，この情報を総合しても，ラブ・ネゴシエイターはロリータ凌辱ラブひなリスペクトなゲームって事しかわかんないじゃないっ！」
根越「あとメガネっ娘がいなくてＣＧチーフのしまさらさんがエラい怒ってた」
勇気「え，でもメガネなら亜美さんが……」
さちえ「年齢制限に引っかかるらしいんですよ。少なくとも，亜美さん『っ娘』じゃないですから」
亜美「うう，みんなして年増扱い……森山法相，早いとこイラストも児童ポルノ法の対象に入れてください……」

——つづく？

●エッチについて考える

葛西ツトム「今回は真面目な話をしよう」
牧野つばさ「なんだよ、いきなり」
ツトム「いや、そろそろネガティブな思考も飽きてきた。ここは古株として、いっちょ見直されるような含蓄ある話をしてみようかと思うわけだ」
つばさ「ほー」
ツトム「で、いきなりだがつばさ。お前どんなセックスが好き？」
ドゲシッ！（←ハイキックが延髄に直撃）
つばさ「真面目な話じゃなかったのかっ！？」
ツトム「だ、だから真面目な話だ！　最後まで聞け！」
つばさ「…………（警戒中）」
ツトム「──ったく超能力より先に手が出るなんて、それでもエスパーか……ようするにだな、１８禁ゲームである以上は避けて通れないＨシーンについて、考察してみましょうというのだ」
つばさ「それがあの質問だって？」
ツトム「そう。そもそもＨなんてのは学校でスタンダードな性癖を教わるわけでもないし、グローバルな指標がない。何を『いやらしい』と感じるかは個人差がある」
つばさ「そりゃ、まあ、わかるけど…？」
ツトム「ゲーム中の好みのシチュエーションにもそうした個人差はある。あるシーンでＡ氏がボルテージアップしてるのにＢ氏は萎えたりする現象は、むしろ虚構世界である漫画やゲームでこそ顕著なのだ」
つばさ「ふーん」
ツトム「淡泊な反応だなー。やはり１８禁ゲームである以上、そーいう方面の研究を怠ってはいかんだろう。次回作に向けて、という意味も含めてな」
つばさ「あ、一応あきらめてなかったんだ……」
ツトム「さて、最近のゲームは俗に『純愛もの』と『陵辱もの』という分類がされている。一時はえらくハッキリした棲み分けもされてたけど、その前提も崩れつつあるな」
つばさ「『ちょ〜イタ』は？」
ツトム「両方の要素があったが、あえて分類するなら『バカもの』」
つばさ「…………」
ツトム「違いはエッチが合意か強制かというところか。純愛ものはエッチが淡泊という批判が多かったんで、そっち方面のパワーアップを唄ってる作品も多い。だいたい好奇心旺盛な若者が、一度やったぐらいで身も心も満足するって方が不健全だし」
つばさ「そんな身も蓋もない……『身体が結ばれることが愛のゴールじゃない』とかなんとか、もうちょっと別の言い方があるだろ」
ツトム「で、さっきの『いやらしい』という定義の話に戻るが」
つばさ「聞けよ」
ツトム「まず意見の別れるのが、『処女か否か？』だな」
つばさ「うわー、前時代的」
ツトム「現実じゃ声を大にして言うのも難しくなった信仰だが、せっかくゲームやってんだからファンタジーを追っかけないでどうする。リアルが好きなら本物でもナンパしてればいいんだ」
つばさ「…やっぱ自棄になってない？　敵作るぞ、その発言」
ツトム「で、処女だったとすると次のこだわりは『初めての時に痛いか』やたら手慣れてる主人公と初めてなのに気持ちよくなっちゃうヒロインとゆーのはよく居るが、これもファンタジーだよな。大抵、童貞捨てるのに夢中でやたら突っ込みたがる男と、痛いの我慢してあーこんなもんかとか冷静に考えてる女が居るだけだ」
つばさ「いや……それはちょっと、偏見が……」
ツトム「男の性欲にはどうしたって征服欲がつきまとうから、痛がられた方が燃えるという事も多い。現実だと鬱陶しいだけだが、ゲームの中では思う存分泣き叫んでもらおうという……」
つばさ「あ、あのー、アタシ帰っていいかなぁ？　代わりに清香さんか誰か呼んでくるからさ」
ツトム「いいから聞け。中出しもゲームの中じゃ頻繁に行われてるが、現実じゃ生ってだけで勇気が必要だ。陵辱ものならともかく、エロゲーの主人公はどいつもこいつも勇者だな」
つばさ「そんな勇者いらない」
ツトム「んで、そのままぶちまけた後彼女が怒るか喜ぶか。これもこだわる奴はこだわる。痛がって欲しい派は、ここで怒られたいのかもしれない」
つばさ「……あのさ、この話って、本当に次回作に役立つような話なのか？　単なる馬鹿話に聞こえるんだけど」
ツトム「そんなことないぞ。ようするに、これまでの『こだわり』って、結局みんな２択だろう？」
つばさ「そうだね」
ツトム「つまりシチュエーションを細かく分けていって、『こだわり』が出てくる部分を突き詰めていけば、たくさんの２択の組み合わせで、万人に認められるエッチシーンが作れるはずなのだ！」
つばさ「……そうかぁ？」
ツトム「信じないのか」
つばさ「いや……こだわりの部分を突き詰めるってトコまではわかったんだけど……」
ツトム「問題でも？」
つばさ「えーと、その……たとえばいたす時に痛がるかどうかって、誰が選択するんだ？」
ツトム「ユーザーに決まってるだろ」
つばさ「どうやって？」
ツトム「だからエッチシーンが始まって挿入するときに……」
つばさ「……痛がってください、って主人公に頼ませるの？」
ツトム「……なんだそりゃ」
つばさ「いや、なんだも何も……」
ツトム「ダメじゃん、これ……待てよ、ゲーム開始前にヒロインの設定を細かく選択できるようにしてやれば…！」
つばさ「そんな反応の判りきった相手とするの、楽しいか？」
ツトム「…………」
つばさ「それにこれってシナリオが膨大になるぞ？　費用対効果が悪いって、透視システムの時と同じ問題があるじゃないか」
ツトム「いや、いっそそれは、費用対効果が悪いことが『ちょ〜イタ』シリーズのウリってことにしてしまって…」
つばさ「そーゆーユーザーに関係ないことウリにしたってしょうがないのっ！」

続編制作への道はひたすら遠い。次回こそいいアイデアは出るのか？　それともこのままエロゲーについて馬鹿話をするコーナーになってしまうのか！？　乞うご期待！！（予想１：期待が小さかったのでコーナーが消滅する）

本コーナーへのお便りは、奥付の住所またはメールアドレスへ。『ＦＣ「ちょ〜イタ」係』まで。次号掲載の〆切は１０月１５日（月）必着です。

こんにちわー。日本の夏、京都の夏。四方を山に囲まれた京都は、フェーン現象全開で、夏は暑いです。もー、うだるうだる。かの池田屋事件の時も、暑気あたりで、隊士の皆さん、バタバタ倒れていたのは有名な話ですけどね。しかし、今年の夏は暑いですねー。関東では７月は記録的猛暑、８月は例年並、９月も平年以上と考えただけでクラクラしそうな予報が出ているそうです。やってらんねーとか思いつつダレダレ始めていきましょう。今月はなんと増量で２ページです。イラストカットも入った監察方ネットワーク、お伝えしたい情報満載でいってみましょー。

夏だ！コミケだ！６０だ！

まずは真夏の祭典、コミケット６０特報！　……は、別のコーナーでやってるから割愛します。
おまち「ってちょっと待ったぁ！」
……あ、またおまちちゃんだ。前回と同じ登場の仕方じゃ、インパクトありませんよ。
おまち「そういう問題じゃないでしょ！　そういうすっ飛ばし方ないじゃない！　いったい何のために人をビッグサイトまで派遣したのよ！」
だって、同人誌の情報も企業ブースの様子も全部別コーナーでやっちゃっているんですよ？　今さら何を報告しろと。
おまち「そんなんでページが埋まるか！」
はっ！　それもそうですね。よもやおまちちゃんから目鱗ちっくなツッコミを受けるとは思いませんでしたけど。それでは、他のページに気兼ねしつつコミケット６０リポートと行きましょう。会場のおまちちゃんさーん？
おまち「そんな芹沢さんみたいな呼ばれ方ヤだ。はさておいて、こちらは有明ビッグサイトでーす。三日目、日曜日。会場はすごい人で～す。来場者のいや、東館に来た人の十人に一人でも行殺を買ってくれていたらと思うほどの盛況ぶりです」
おお、さすがは欲望のメイルシュトローム東館。でも、ギャルゲー系のサークルは西館なんですよ。つーわけで移動してください。
おまち「あの大混雑の連絡通路を移動しろっていうの！？　何のために東館に行けって言ったのよ！」
そこを抑えないとコミケじゃないですから。さておまちちゃんが西館に移動するまでの一時間弱ほどの時間はこっちで企業ブースの様子をお伝えしながら待ちましょう。
企業ブースでは、参加企業が物販やら宣伝やらで大騒ぎ。遙か遠くにあずまんがグッズを買うための行列が見える他は、縦横に移動する人の波にチラシやらを配るために企業の広報さんが吶喊する光景が見られます。ライアーソフトは同人誌・グッズ販売でおなじみの『とらのあな』さんが、行殺グッズを販売するのに便乗して、新作『ラブ・ネゴシエイター』のチラシと体験版を配っていました。
おまち「西館つきました～。」
連絡通路での渋滞にヘロヘロですね。
おまち「でも、コスプレ広場や企業ブースに向かうエスカレーターに比べればまだマシかも。あれはさながら蜘蛛の糸」
言い得てミョー。さて、西館の様子をサクサク伝えるよろし。
おまち「ふあ～い。実はね、コーナー担当は不届きなことに、カタログをほとんどチェックしないで行動していたらしいです。おかげで、いきなり歴史系サークルの真ん中に出現しちゃって、かえってビクビクしてたそうです」
新選組でエロゲー作ってて、そんなとこに行くなんて、命が危ないですよね。
おまち「まったく。チェックくらいしときなさいっての」
睦月　企業ブースの手伝いの合間に見て回っただけなんだよぉ～。
言い訳は切腹。
睦月　きゃ～。
おまち「疲労困憊でフラフラしながら回ってたら、サークルの方達に心配されたみたいです」
『ぶる１』でも同じことしてました。進歩なーい。コスプレさんは副長とカモちゃんさんがいた模様。見逃した～！　と担当は地団駄。ホントに使えなーい。運良く見られた方は、その記憶を担当にください。脳細胞でも可と言ってました。
もう少しまともなリポートは別コーナーでね。

その一週間前はワンフェスだ！

さて、お次は一週間さかのぼって、ワンフェスのお話です。場所は同じく東京ビッグサイト。現場のおまちちゃ～ん？
おまち「はい、おまちです。実は一週間前からここで待機してたんです。ウソです。ご都合なのよー」
いいからリポートしてください。
おまち「はーい。ありがたいことに、行殺キャラもフィギュアデビュー☆　今回のワンフェスでは、ディーラーさんの中で、近藤局長、土方副長、原田沙乃ちゃんのフィギュアにチャレンジされた方がいました。まさに社会的にも知名度的にもチャレンジャー☆」
言い過ぎですって。
おまち「おっきな近藤局長のものは迫力満点。会場後、一時間くらいしてからうかがったのに、もう完売してたんです。ディーラーさ～ん、次につくる時はおまちもよろしくね☆」
無理じゃないですか？　コーナー担当はワンフェスには初めていったそうです。いろんなフィギュアや人形、おもちゃがズラズラ並んでいたあたりに、男の子魂が刺激されていたようです。コミケとはひと味もふた味も違う会場の雰囲気も、どこか玄人さんっぽいですよね。

グッズもあるぞ！　ムックもあるぞ！

それでは次。冗談で言っていたカモちゃん扇子がマジになりました。
おまち「行殺グッズが『とらのあな』さんからほんとに発売されちゃいました～」
まずはコミケで先行発売ですが、今後も折見て隙見て販売していくそうです。
おまち「油断ならないですね～」
ええ、世の中的に。さらに、次。ビジュアルブック（仮題）がソフトバンクさんから発売決定！
おまち「いったいどうしちゃったの！？　ここにきてこんな企画の目白押し！　ロウソクの炎の最後のきらめきなの！？」
不吉なこと言わないでください。半信半疑だった話が日の目見ちゃってどうしていいやらスタッフ一同踊っているのは確かですけどね。
おまち「その言い方もなんかヤ」
そのムックに収録される座談会が８月某日、新宿「かなえ」で行われました。潜入リポートよろしくお願いします。
おまち「人使い荒いってば。はい、でもってこちらが『かなえ』です。サフィズム開発中に名前で選んで入ったら料理がおいしくて大当たりだった居酒屋さんです。ソフトバンクのライターさんをまじえてスタッフがしみじみ昔語りしてます。開発中、楽しかったことは？　という質問に、一同、押し黙ってすすり泣くなど、なにやら異様な光景です」
そういう開発環境で生まれたなんて、複雑な心境ですね。
おまち「言わないでってばぁ！　ともあれ、この座談会の内容がどこまで忠実に収録されるか、それだけでも行殺ムックは大注目！　買って損無し！　お願い、買ってぇ～」
そうそう、よっくお願いしておきましょうね。

おまけにノベル連載だぁ！

さて、まだまだ続きます、行殺速報。このコーナーオンリーの特選情報はこれだ！　はい、おまちちゃん！
おまち「はーい、目玉はこちら！　行殺メディア進出第２弾！　今度はノベライズ、美少女ゲーム情報誌『BugBug』で行殺ノベル連載けってーい！」
２００１年１０月３日発売号から堂々全６回連載です。もちろん、挿し絵は八雲剣豪先生です。
おまち「本文もライアースタッフが担当よ。修羅場続きでにっちもさっちもいかないのに、どうしてひ

Illustration K.TEN

きうけるのかしら。いろいろデンジャラース！」
　そりゃ、話持ってこられたら逃げられないですよね。
おまち「律儀に受けて立っている場合か。でも、お願いだから、今度こそあたしを出してあたしを出してあたしを出してぇ！」
　はいはい、落ち着いて。今度こそ、全キャラ均等に出すべきだと釘を刺されているそうです。あと、濡れ場は掲載１回につき必ず２回、とか、妙な内部目標があるそうです。
おまち「何それ。確かに、濡れ場２回は連載ノベルのお約束らしいけど」
　まあまあ、そんな汚いものを見るような顔しないでください。１８禁ゲームの宿命なんですから。あなたも汚れ役として期待されてるんですし。
おまち「…………」
　あ、もっといやそうな顔。極秘情報として、内容は池田屋事件、つまりゲーム本編の直後を扱うオリジナルエピソードになりそうです。
おまち「題して『劇場版』！」
　お楽しみに〜。

あとはのんべんだらりと行こう〜

　はぁ、ようやくお知らせ関係が終わりました。今年の夏は行殺が熱いですね。
おまち「なのにあたしの出番がぜんぜんなーい！」
　世の中が平和な証拠です。では平和の証拠をもう一コ。真夏のワンショット、カモちゃんさんです。

《ＰＮ　球玉さん》

　この人が和んでいるかぎり京都の夏は平和です。
おまち「でも酔っぱらってるみたいよ？　このまま花火〜、とか言って８８ミリ砲をドカンドカンとか……」
　それなら大丈夫、前に一度やってますから。
おまち「やってりゃいいってもんじゃないけど」
『暑中見舞ハガキがとても恐……楽しみです。とりあえずお中元として「２０世紀新選組」をくらはい』（球玉さん）
　……なんかすっかり引き出物か粗品になってますね、２０世紀新選組。そしてすみません、遅れています、暑中見舞。
おまち「今現在、すでに残暑見舞のシーズンよね。夏の間に出せるのかしら？」
　出るといいですねぇ……。
おまち「遠い目しないでよ！」
　ま、過去のことはいいとして。
おまち「まだ出してないんだから未来の話でしょ」
　いいとして。続いて、今回も街で見かけた新選組のコーナー。
おまち「コーナー名あったのね」
　ええ、勝手に。よい子の行殺ファンならしっかりチェック済みかもしれませんが、ＥＮＩＸから出ている月刊誌『ガンガン』で連載されている『新撰組異聞ＰＥＡＣＥ　ＭＡＫＥＲ』（黒乃奈々絵）が８月発売号で第一部幕となりました。一部のヤマは池田屋事件。もう、ロン毛の吉田稔麿が大立ち回り。でもって、主役は市村鉄之進。なんで市村君が池田屋におるねん、とかのツッコミも入れられる通り、史実度は低め、アレンジ度高し。個人的には永倉チビ八を中心にした三バカトリオがお薦めです。あと市村兄。小学生でも読めるガンガンでは異色のハードさを誇っていただけに、再開が待たれます。
おまち「次号予告には載ってないのよね。……次号から奇面組が始まるんだって。昔のジャンプ系の復活ってもうそれ自体がギャグなんだけど、これに押し出されたように見えるなんて……」
　あと、ちょっと詳しいチェックは入れてないんですが、週刊スピリッツで、現代にタイムスリップしてきたとおぼしき近藤さん、沖田さん、原田さん、あと土方さん？　がＴＶ局に立てこもったテロリスト相手に大立ち回りしているマンガが連載されてます。こっちはまるっきり先が読めません。
おまち「絵柄は青年誌らしい男臭さに溢れてるから沖田さんに爽やかさとかカッコよさとか求めなければ楽しめるわよ」
　最後に、ＢｕｇＢｕｇの編集さんからいただいた新選組ムックをご紹介。
おまち「河出書房から今年の６月に出た文藝別冊のムックでーす。Ａ５版のコンパクトサイズで、ムックって言っても字ばっかりだから、気をつけてね」
　いわゆる歴史系のムックですからね。内容は学術的とはちょっと言い難いけど。江夏豊にインタビューしてたり、マンガとか載ってたり。新選組を扱った小説、マンガ、映画をまとめたコラムとかがあって、新選組をすでに知っている人が楽しめる内容になってます。
おまち「表紙は浅黄にダンダラ。土方さんのお写真が目印です」
　興味のある方はどうぞ。探すの大変かもしれませんが。ＢｕｇＢｕｇのＭさん、ありがとうございます。
　さて、２Ｐの長丁場でしたが今回はこのへんで。次号はまた１Ｐに戻って、のんびりと行殺ＤＣ版の可能性について検証してみたいと思います。
おまち「何する気よ」
　お便り、投稿はいつでも受け付けております。ＦＣ内行殺コーナーまでよろしくお願いします。それでは、次は秋にお会いしましょう。
おまち「またねー☆」

次号掲載〆切は１０／１５（月）必着です。

ケンタ辛口チキン復活特集！

常葉愛「武富士の新ＣＭはブルマーかブルマーなのか、どうなんだえぇッ？　常葉愛ダスーッ」
樋口双葉「ひゅーほほほ！　双葉よ！　ついに国会にＢＢ団幹部を送り込むことに成功しやがりましたわ！　お次は議事堂電流爆破デスマッチ！」
樋口差歯「さささしししさしさし」
愛「おっ、邪悪な小学生ども。久々じゃん、元気してた～？（クリカン調）」
双葉「なんですとッ！　もう中学生よ！」
差歯「ちちちがちがちががッ」
愛「さて、今回は夏の自由研究にいそしむ良い子たちの質問に、ずばりお答えという企画だぴょーん」
双葉「……唐突なのはいつもの事として。ハガキも無いのに？　それって自暴自棄って云うのよ！　ハッ！」
差歯「じじじさくじじえじえじえええ」
愛「ハイハイ、自作自演な。自問自答か？」

■ブルマ原理主義的ＦＡＱ

Ｑ「“萌え”ってなに？」
愛「いきなりだな」
双葉「変態」
愛「萌え【もえ、もへ】フェティシズムが日本のオタク事情に合わせて高度に幼稚化、細分化したもの」
双葉「じゃあ、キャラ萌えはー？」
愛「二次元キャラとはＳＥＸが不可能なので『さくらたん犯りてぇ～ハァハァ』が『るりたん萌え萌え～』になったんでない。ＳＥＸできたら誰もそんなん言わんで真面目に口説くよ！　ああ！」

Ｑ「お店に行ってもゲームが多すぎて何を選んだらいいのやら……。面白いゲームがあったら教えてください」
愛「麻雀」
双葉「ゲームばかりやってると犯罪者になるわよ」
愛「あきらめてクソゲーマニアになるってーのは？」
差歯「さ、ざしざしをみてみみみ」

愛「広告無掲載の『エロゲー批評』があればいいって？　でもそれで納得できる？　誰もが認める完成度の高いゲームと、その時自分が楽しめるゲームは違うんでない」

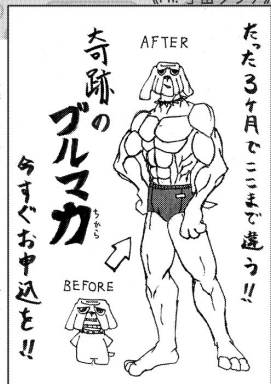
Ｑ「どうしてボクには妹がいないのですか？　子供を持つのは基本的人権の一つなわけでだったら以下略」
愛「イメクラに行こう」
双葉「真の妹はあなたの心にインマインドって事で勝手によろしくやってなさいよ、ってゆーかそれは既婚夫婦の場合でしょーが！」
差歯「……」
愛「……なんで赤くなってんの？」

Ｑ「このまま行くと我々の老後はオタクで溢れかえりませんか？　生きてて恥ずかしくないですか？」
愛「もしかせんでもそうだ」
双葉「シルバーマンになったら縁側で渋茶すすったりしないの？」
愛「するかい。矢沢永吉を見れ。３０年後の君は今と考えてる事もたいして変わらんって。エロゲーも同人もいつまでも存分にやってよし」

Ｑ「近頃、うまく焼けないソフトが多くて困ります」
愛「とりあえず１メガボルトに電圧上げとくと、マジヤバいくらい焼けるってブッシュも言ってた」

Ｑ「これ以上麗奈ちゃんに年をとらせないためには……嗚呼……」
愛「全くだー。麗奈ちゃんも愛ちゃんも亜紀ちゃんも佑香ちゃんも涼子ちゃんも希ちゃんも、みんないつかおばあちゃんになっちゃうのよーるーるるー」
双葉「出版社の陰謀ね！」

Ｑ「ゲーム専門学校に通えばゲームが作れるようになりますか／ＣＧがうまくなりますか」
愛「なれん／ならん。学費で同人ゲームでも作った方が勉強になるぞ。まあダメならダメで、口惜しいと思える根性があれば何とかなる」

Ｑ「営業にダサいコピーを付けられました。恥ずかしくて死にそうです。死にます」
愛「そうかにゃあ、なかなかいいと思うけどにゃあ、オホホホよろしくて？」
双葉「会報表紙参考～」

Ｑ「スクリプトがありませんとメッセージが出てゲームが止まります」
愛「ごめん」

■夏コミの思い出　「おおおいおいどうするよカタログにぶるま～2000のカットが4つもだぜ！ アーンビリーミサ困っちゃう！ ぶるまー2000本ありますかーッ!?」「落ちました」「カットだけなら……」「ぶるまーやってません」ぎゃふん

《PN.宇宙クラゲ》

たった3ヶ月でここまで違う!!
AFTER
奇跡のブルマカ
BEFORE
今すぐお申込を!!

▼誰が犬を描いてこいと言ったギャルだギャルを描け！　銀ブル1枚ゲット。

▲生き別れの姉がちらっと出てたっつー話だが。銀ブル・トータル２枚ゲット。

《PN.さるたつ》

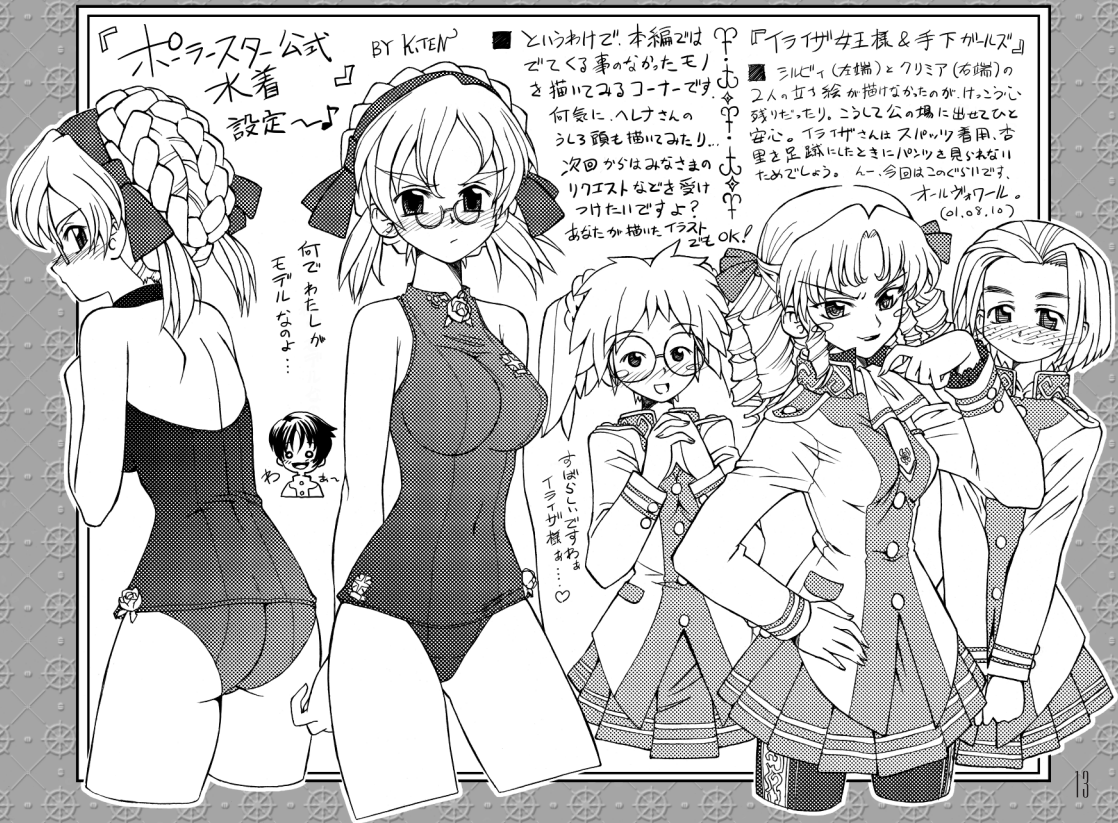
■ブルマ絵募集「トンネルを抜けるとそこはブルマの国で～すの～」係まで応募要項は26ページと同じ採用者には銀のブルマーク進呈ソヨンなら２枚芳野ママンなら３枚。

サフィズムの舷窓
THE CASE OF H·B POLARSTAR

杏里「鼎さん！　大変だ，大変だよ！」
天京院「杏里，そんな登場の仕方をすると時代劇の岡引みたいだぞ。で，なに？」
杏里「好評発売中の『サフィズムの舷窓』コーナーがなにも決まってないんだ！」
天京院「……え？」
杏里「ほら，ボクって結構忙しいから，何をするかなかなか考える暇がなくて」
天京院「……忙しい，ね」
杏里「あ，その全てを見透かした様な眼でボクを見ないで！」
天京院「しょうがない。一緒に考えてやるから，手隙の人間を集めてくるんだ」
杏里「ウィ！」

●　●　●

杏里「あれ？　ファーストクラスのみんなは？」
ヘレナ「ファーストは授業中です。だいたい，私的な用件で校内放送を使ってはダメよ」
天京院「さあ，各自意見を言ってくれ」
一同「……………………」
クローエ「……なんで誰も意見を言わないの？」
ヘレナ「え，急に言われても思いつくもんじゃないわよ……」
天京院「まあ，糸口が少なすぎるから当然か。とりあえず，読者投稿を中心にしたコーナー作りってところからやってみようか」
クローエ「でも，そのスタンスは他のページでもやっているわ。少し捻ったものにしないと」
イライザ「読者のカミングアウト宣言を紹介するというのはどうでしょうか」
杏里「いいね！　サフィズムっぽい」
ヘレナ「カミングアウトって……ゲイとか？」
クローエ「そんな特殊な投稿があるか！」
イライザ「カミングアウトの意味を拡大する事で一般的な投稿も呼び込めるかと……」
天京院「ほう，例えば？」
イライザ「そうですね……『私，今日から巫女萌えになります』とか？」
天京院「なるほど，自分の変態性の宣言を行なうコーナーか。面白い」
イライザ「カミングアウトするに至った経緯とかも書いてあるとグッドですわ」
クローエ「全然一般的投稿じゃない気が……」
天京院「まあ一案として置いておこう。他は？」
ヘレナ「普通にゲーム内の設定やストーリーに関する質問，イラストの投稿を募集……」
天京院「普通だな」
ヘレナ「でも，あんまり妙な方向性で話題を縛ると読者も投稿をしにくいと思うの」
天京院「一見正論だが，汎用的な目標と言うものは混乱を招くこともある。深夜ラジオ然り，ファミ通のゲーム帝国然り，投稿ページは話題を一定方向に縛る事で面白くなるものなのだ」
クローエ「今日の天京院さん，雄弁ね」
杏里「もともと，喋るのは嫌いじゃないんだよ。ただきっかけが少ないだけさ」
天京院「そこ，勝手な分析をしない！　さあ，他に意見は！」
アイーシャ「お悩み相談はどうでしょう？」
天京院「ふむ，それも普通だな。具体的には？」
アイーシャ「一応ごく普通の悩み相談です。ただ相談者は相談内容の他に，相談したい相手を指定する事ができます」
天京院「なるほど。我々サフィズムメンバーから好きな人に相談ができるってことか」
アイーシャ「ええ，恋の悩みや，進路相談，夜の献立から素朴な疑問までありとあらゆ　るものにそれなりの解答をしていくコーナーです」
天京院「真面目な悩みもふざけた悩みも受けつけると」
アイーシャ「はい。それぞれ個性に沿った解答を導き出し，相談者はそれなりに安心できます」
クローエ「それなりに，ね」
天京院「まあよし，このくらいで良いか。杏里，どれにする？」
杏里「えっ！　多数決とかじゃないの？」
天京院「杏里の決定なら不満も出まい？」
クローエ「候補案は……」
イライザ「『カミングアウト宣言』か」
ヘレナ「『一般投稿』か」
アイーシャ「『それなりお悩み相談』です」
杏里「うーん，どうしよう…………」
天京院「因みにどれを選ぶかはもう予想済だ」
イライザ「そうなんですか？」
杏里「よし，決めた！　全部やろう」
天京院「やはりな。杏里が恋人の意見を無視する事なんてできるはずがない」
杏里「みんなが一生懸命考えてくれたからね」
天京院「ＯＫ。じゃあ募集内容は決定だ。読者諸氏は奮って投稿してくれ」
アイーシャ「もし，投稿が無かったら？」
天京院「その時に考えるさ」
ヘレナ「そんないい加減な……」
杏里「ケ，セラセラさ」
ヘレナ「うぅ，投稿まってます〜」

奥付の住所またはアドレスまで。
『カミングアウト宣言』係
『それなりお悩み相談』係
『サフィズム普通投稿』係
各コーナー名を明記してください。
次号掲載〆切は１０月１５日（月）です。

「独り。去りゆくときは、いつだって独り…」「此処に居たらいけないって…どうして解らないんですか!?」「滑稽よね。私だけ生きてる」それでも「五樹らしくない。五樹らしくないよそんなの! あたしは信じてるからね!」「昨日に幸せなんてない」「どこ見てる、スケベ」樹里、「愛が傷つけるなら、愛が殺すなら、俺に何ができる」血を「だからって、誰かを救ってやれるだなんて!」分けた「死にそびれたんだから! もうあんたは此処にいないんだから! いいから死んじゃえよ!」たった「本庁から参りました。那霧清香です。捜査にご協力お願いします」ひとりの「現実は不公平で残酷です。でも、それでも生きていれば、良かったって思える時がきっと」きみを「あんたら、そんな仲よかったっけ? ……そんなわきゃないな」ぼくは「いいのよゆっくりで。見失ってもここへ帰ってきて。またさがしはじめれば」追い「またァ? いい加減にしてよね、ママ」求める「わしらは夏生ちゃんのファンなんじゃあ」「なんだよ、ヤバイよ、ヤバイって、ヤバイ、ヤバイ!」「癒しゲー?」「痛ゲー」「馬鹿ゲーとちゃうん」「ライアーのゲームは青春よ☆」「嘘つけ」

バトルロワイやる

■あらすじ

　レイチェルの陰謀によって絶海の孤島に閉じこめられたライアーキャラたち。１時間ごとに爆発する死の首輪。最後に生き残るのは誰だ？

■登場キャラクター

【A】殺らねば犯られーズ
杏里・アンリエット：ボクを信じて／おフロタイム／バカはバカなりに
牧野つばさ：ＥＳＰバリア／正義のもとに／拉致られる

【B】わんわんズ
近藤勇子：マゾる／虎鉄／禁断の秘技（ゲンコツ使用）
ブル：噛みつく／ＩＱ50000／ブルマー星人

【C】やくいっせんまんぱわーず
キッス・キリアンガヤ：アフリカ投げナイフ／ブルマー呪術／道に迷う
憲重：柔道ぱわー／ほのぼのレイプ／頭部パーツ分離

【D】パツキンズ
カモミール・芹沢：カモちゃん砲／Ｈしよー／鴨川のヌシ
コー：天使のほほえみ／どばるだん／悪魔的ニヤリ

GM「今回のゲストはＫ．ＴＥＮさん（……って当然の様にコーの席に？）。ではルールを説明」

・最初の一時間は直接殺害不可
・以降１５分ごとに一人爆破。ただし前回より人数が減っていれば爆破なし
（ゲーム内では１時間扱い）
・毎ラウンド最初にカード（イベントor武器）を引く
・武器はパートナー間で共有可

■第１ラウンド

GM「では憲重さんから――」
憲重「**【産卵中のウミガメを手に入れた】**」
キッス「食料確保ノナ☆」
ブル「**【急に雨が降り出した】**バウ（濡れないところに近藤を引っ張っていく）」
近藤「**【ヤーン（猫）が服にしがみつく】**。そーじが居なくて良かったね。はい、ブルちゃん」
ブル「ババウ！（俺に乗せんな！）」
つばさ「**【野生の馬に出会う】**動物王国かこの島は？　足がわりに捕まえとく」
キッス「**【ホワイトドールの石像を発見】**……ヒゲの神様ノナ？」
憲重「でかしたぞ！　踊れ、裸で！」
キッス「ノナ！」
カモ「でも、それって股間を隠す金魚が必要よね」
キッス「そうなノナ～、金魚を捜すノナ」
コー「**【体長３０センチの山ヒル発見】**うひゃあ。とりあえず捕まえる～。『悪魔的ニヤリ』でおともだち～」
GM「判定……はい、血も吸われず無事捕まえました」

■第２ラウンド

GM「さくさくいきましょう。何が出ました？」
憲重「**【体長３０００センチの山ヒル】**……って３０ｍか、うをっ！　『柔道ぱわー』で投げる……失敗！」
GM「３ラウンド以内に何とかしないと失血死します」
憲重「キッスー！」
キッス「前向きに善処するノナー！」
ブル「バウ！**【マクド発見】**（食料だ！）」
近藤「でもお金が……じゃあ押し借りね」
GM「畜生、この壬生狼め。いらっしゃいませ～、ポテトもご一緒にどうぞ～（泣）」
近藤「……今、応対していたのは？」
GM「だから店員さん」
つばさ「無人島じゃなかったの？」
GM「バイトですから～」
近藤「**【脱ぎたてのブルマ】**バリューセットだ」
カモ「店員からひっぺがしたのよ」
近藤「ブルマは武器になるからあ、憂時に備えてブルちゃんに穿かせましょう」
ブル「バババウ！（だからなんで俺！）」
キッス「**【ボウリング場】**見つけたノナ？」
憲重「ヒルがヒルがーッ！」
キッス「じゃあボーリングの弾で撃退ノナ」
GM「全く効いてません」
憲重「こうなったらホワイトドールで！」
コー「**【人骨】**ひろったよー。カモちゃん砲のたまだね」
カモ「サンキュー。アタシは**【ベレッタM92】**。コーちゃんにあげるねー」
GM「仲よきことは美しきかな。ちなみにヒル判定をどうぞ」
コー「てへ、しっぱい」
GM「吸われました。あと２回で死亡」
コー「ノオオオオ！」
憲重「……む、もしやこのヒル、我々の巨大ヒルを捜してる！？」
コー「じゃああげる」
キッス「させないノナ！　断固阻止ノナ！」

■第３ラウンド

　突然**【巨大化】**したコー。勢い、投げ飛ばした子ヒルは、ファンブルでカモちゃんを直撃！　だが**【アフロ酋長から暗殺術を伝授】**され、世にもめずらしいパツキンアフロとなったカモちゃんは見事ヒルをうち倒す。
　キッスは動物と話せたような気がするというウロおぼえの設定で、親ヒルを説得。子ヒルの仇、カモちゃんへと向かわせる。命をとりとめた憲重はセカンドカツラのアフロを手に入れホクホク。
　そのころ、ほとんどハブにされている杏里とつばさは、二人で**【幸せのピノ】**を食べて幸せになっていた。

■第４ラウンド

キッス「**【お腹が空いた】**ノナー！　今こそウミガメの卵を食べるノナ！」
GM「ぼろぼろと涙をこぼす親ガメの産むはしから爆食しています」
キッス「うま、うまっ！」
つばさ「おい！」
杏里「**【カモちゃん似のダッチワイフ】**発見……なんだ年上の人形か」
つばさ「あんたはそれだけかい！　一応確保……あー、情けな」
近藤「**【３０センチの目覚まし時計】**？　ん～、はいブルちゃん」
ブル「バウ！（だから重いっつーの！）」
近藤「じゃあ、どこかに荷物置き場を作ろっか。屯所探しだね」

■第５ラウンド

コー「いきなり**【地割れ】**！　わー！」
GM「そこへヒルも到着」
コー「わー、きけんがいっぱい！　『マイクパフォーマンス』（投稿者：ＹＴＳ）でヒルをげきたいだ！　コーはぁ、だれのちょうせんでもぉ、うけるぅーうー！」
近藤「キャーッかわいい！　挑戦したーい」
GM「でも失敗。綺麗に襲われてます」
カモ「助けなきゃ！　**【持っていた武器が暴発】**？」
GM「アフロが爆発して黒アフロになりました。黒くもなる」
カモ「ファンキー！　しかも茂みから出られん！」
キッス「**【電撃大王・全プレ券切り取り済】**ノナーっ！　ま、これは置いといて、ブルマー呪術でホワイトドールを起こすノナッ　ほんにゃか、ほんにゃか……成功、クリティカル！」
杏里「金魚は？」
キッス「ウミガメで代用ノナ」
GM「成人の儀式に応えてホワイトドールが稼働しはじめました」
一同「や、やばい～！」
つばさ「しかもこっちは**【体長３０センチの山ヒルの大群】**！　ぎゃー、馬で逃げる！」
杏里「乗馬ならボクに任せて！　成功！」
近藤「**【上空から照明器具が落下】**え、もしかしてセット？　とか言ってたら、屯所はっけーん。照明装着ー」
ブル「バウ（発見したのは俺だって）」
憲重「**【墜落したコンコルド（常葉家自家用機）を発見】**ほほう。とりあえず、ホワイトドールに背負わせて移動開始」

■第６ラウンド

　災厄続きのコーとカモちゃん。地割れと巨大ヒルに加えて、野犬の群までが襲いくる。しかしコーの『天使の微笑み』で野犬を手なづけ、ヒルは地割れに落ちた。
　さらにカモちゃんは**【墜落したヘリコプター】**から、飢え死にしたハリソン・フォードを発見。ハリウッド産のドッグフードで餌付けされた野犬は、アフロ犬にレベルアップ。
　そして、戦力バランスを大きくくつがえすと思われたホワイトドールは**【30億円でパルマに移籍】**してしまった！

キッス「大金持ちノナ！」
憲重「馬鹿者ー！」
つばさ「あー、**【実はあたしは富士急ハイランダーだった】**」
一同「またかよ！」
近藤「やったよブルちゃん**【１００万円の札束】**を発見したよー」

ブル「バウ（よし、軍資金だな）」
近藤「【ただし全て二千円札】。ハイ」
ブル「バウー！（邪魔だーッ！）」

一方、ブルが召喚したはずのブルマー星人は、つばさのもとへ。憲重のアフロカツラには順調に【毒キノコ】が根づいていく。

■第７ラウンド

ここで最初のタイマーが鳴る。
一同「うわあ、来たあ！」
GM「このラウンド終了時点で、誰かが爆死します」
コー「ころすの？　ころさなきゃ！」
近藤「でもまだ、どのチームも遭遇してないよね？」
一同「…………」
憲重「とりあえず敵を探すぞ。うろうろ」
GM「キノコ判定してください……失敗ですね。さらにキノコが増えました」
憲重「毒が毒がー」
ブル「【産卵中のシャケ】……バウ」
近藤「おいしそうだねー」
ブル「バウ（だからこのラウンドで誰が死ぬんだってばよ！　今の時間は？）」
GM「夕方っすね」
ブル「バウ（照明を空に照らして、あえて居場所を教える）」
近藤「じゃあ、私は【洞穴】に隠れて、虎徹を構えて狙撃準備～」
GM「ほほう、罠ですか」
ブル「バウ（よし！　シャケも美味しそうに盛っておびき寄せる）」
キッス「ふらふら～、いい匂いノナ～」
GM「つばさはライトアップされた屯所を見つけました」
杏里「お風呂？　ねえ、お風呂？」
近藤「ラブホっぽい照明にしておこうっと」
杏里「つばさクン、疲れないかい？」
つばさ「だから罠だってのに！」
杏里「ほら、【サンダーボール】も見つけたよ？」
つばさ「ムード出してる場合かーッ！　とほほ、もう用心して近づくよ」
キッス「ノナッ！　【北斗の拳・最終巻以外全巻】ノナ！　最後が気になるノナ～」
カモ「【ベレッタM92の弾】発見」
コー「ちょーだーい、ちょーだーい」
カモ「うんいいよ」
コー「にやそ」
一同「…………」
カモ「では、照明のもとへアフロ犬軍団をけしかけるよォ！」
近藤「ひぃぃ～、ごめんなさい～」
コー「【次に転倒した者が、一番近くの者の胸に張りつく】……なにこれ？」
憲重「ど根性ガエルですな」
コー「ふーん、それじゃあ、カモちゃんさんをうちまーす。しねやー！」
一同「うわあ、やりやがった！」
GM「命中。カモちゃんさんは瀕死です」
コー「ちっ、しとめそこなったぜ」
カモ「あああ、ザンザン雨も降ってるし、例のイベントCG状態……でもさあ、死んでないってことは――」
GM「ハイ、お待ちかねの爆破判定です。今回、首輪の爆弾が作動するのは――」
一同「……ゴク（サイコロを見つめる）」
杏里「えっ、ボクかい！？　諸君、オールボワール……ボーン！」
つばさ「ギャーッ！」
GM「杏里の首がつばさのシャツに張りつきました」
つばさ「なんじゃこりゃあーっ！」
近藤「首級だよ～」
一同「この世～で一匹～♪　平面レズビアンのアンリエット～♪」

■第８ラウンド

GM「これからは15分に一度の爆発です」
コー「ひぃ【体長30センチの山ビル】がまたでたよー！」
キッス「どこかに山ビルマニアがいるノナ」
コー「瀕死のカモちゃんにヒルでとどめを」
カモ「抵抗させてー。【ケンダマ＋1／バックスタッフ時クリティカル】で攻撃！」
コー「わあ、負けたー！　死にかけ」
カモ「勝ったー！　でもアタシも死にかけ」
憲重「あいつらにトドメを刺そう」
GM「その前にヒルに殺される気も」

この後【ほねっこ】を発見したつばさは、それを近藤とブルに投げつける。向かってくるアフロ犬軍団をなんとか避わした近藤たちは、つばさを虎徹で狙撃。つばさも『いつぞやのドワーフに変身』（投稿者：宇宙クラゲ）を使って対抗する。

■第９ラウンド

コー「【アフロの罠にかかった】」
カモ「【アフロ病になる】」
ブル「バウ……（こいつらは……）」
ここでタイマー。
一同「うわ！　爆弾が！」
コー「死ぬ死ぬ！　『どばるだん』でヒルとともだちー」
GM「オーゥ、ヒルはトモダチネー」
つばさ「『どばるだん』って何？」
カモ「やばい殺される！　こうなったら『鴨川のヌシ』！　あるふれっどー！」
GM「じゃ、のちほどヒルvsヌシ戦を」

キッスと憲重は『勝利の…メイク・ラブだノナッ☆』（投稿者：キムン）でムレムレ度を上昇。その隙をついて近藤はキッスを狙撃。憲重は『ブルマーあんどブリーフクロス！（別名：投げキッス）』（投稿者：桐島れいと）で、瀕死のキッスを投げつけるがファンブルで自爆。キッス死亡。

また、近藤の周囲に【友好的なアフロ人】が現れる。
ちなみにヌシ対ヒルはヒルの勝ち。意外にヒル強し。

■第10ラウンド

コー「ヒルをカモちゃんにけしかける～」
カモ「えーい、奥の手だー！　『身代わりの術』（投稿者：むらさめ）。死にかけなのは、実はアラタちゃんでした。永倉ハンマーでヒル撃退よー！」
そう。前回のキャラ紹介の「バーっといってガーッとやる！」は本来、永倉のセリフなのだ！　細かいねキミ！
コー「わー、やばい！」
つばさ「あ、【アフロ人の襲撃】？」

つばさの【アフロ人の襲撃】の被害は近藤へ。さらに【漂流してきた15少年と遭遇】も混じって、大輪姦大会とがぜん18禁っぽい企画に。近藤はこれを『禁断の秘技』で受けてたち、逆に親睦を深めてしまう。
そして憲重は【美味しそうな果物が（猛毒）】に手を出して死亡。そりゃそうだ。

■第11ラウンド

さらに非友好的なアフロ人も出現。ぶっかけシリーズ10本立て級と思われるせめに、さしものマゾ侯爵の近藤も昇天するが『死んでも死にきれん』（投稿者：しのぶ）で復活……ああずるい。
一方ブルは、カモちゃん砲にヤーンを詰めこんで暴発を誘うが、あっさり見破られた。カモちゃんは愛砲を『メガバズーカ・イケニエ砲』（投稿者：球玉）としてぶっぱなす。生け贄になったのは当然ヤーン。

カモ「この犬っころめ！」
ブル「バウッ！（生死判定失敗、死んだ！）」
カモ「よく動物の死ぬゲームねえ」
つばさ「人間もな」
GM「残りはパツキンズの瀕死の二人と、近藤、つばさの4人です」
コー「コーたちはなかまだよねー、とにっこりほほえんで『首輪を鎖でつなぐ』（投稿者：tanishi）」
カモ「カモちゃんは仲間に甘いのでOK」

そしてつばさは一人、底なし沼にはまっていた。
つばさ「ガボガボガボ」

■第12ラウンド

コー「【死んでいなかった】？　誰が？」
GM「えーと…それは憲重でした。毒も克服済み」
憲重「おっしゃあ！」
つばさ「毒重（どくしげ）？」
カモ「【足の小指を角でぶつける】痛ったーい、アウチ、アーウチ！」
GM「生死判定」
カモ「死ぬの！？　ふう、成功。毒重は近寄ると危険だー」
毒重「『ほのぼのレイプ』で毒を注ぎこみたい今日このごろ」
コー「どくレイプ！？」
カモ「アレには関わらんで、と。一人でイイコトしてたゆーこちゃん！　『昔取った杵柄』（投稿者：Jr.）で、じつはアタシハイランダーにツーハンデッドソードの使い方習ったのよ～。斬る、命中！」
近藤「虎徹で受ける！　成功！　ひどいよカーモさん！」
一同「新選組局長対決だ！」

カモ「かたやハダカ、かたや子連れ（コー付き）だけどねー」
つばさ「あー、なにやってんだろ、あたしは……【メカ杏里出現】？」
GM「底なし沼のつばさを引きずり出し、メカ杏里が襲いかかります」
つばさ「メカは～！　メカは嫌～！！」
近藤「えーと【人妻】って……私が？」
GM「友好的なアフロ人と、非友好的なアフロ人と、１５少年の妻」
近藤「一妻多夫制なんだ。じゃあ、『みんな敵はあそこよー！』と、カモちゃんさんをゆびさす」
カモ「うわ！」
毒重「……とりあえず、場が収まるのを待つ　どうせ一度死んだ身だ」

■第１３ラウンド

そしてタイマーが鳴るが、復活早々に、毒重は近藤に狙撃されて死亡。

コー「ほのぼのどくレイプは～？」
幽霊キッス「そうなノナー！　せまりくるアフロ人どもを、契ってはナーゲ、契ってはナーゲ」
一同「（笑）」
近藤「この勢いで『アフロ(はぁと)新選組』を結成するよ～」
つばさ「ううう、メカ杏里さんはもう満足されたでしょうか。しくしく……」
GM「あ、しました。つばささんは行動再開してください」

■第１４ラウンド

またもやカモちゃんのイケニエ砲が火を噴く。アラタを犠牲として、並みいる近藤の旦那たちがなぎ倒される。

カモ「これでゆーこちゃんは未亡人よ！」
つばさ「ごめん。【実は島は巨大生物】」
GM「島は巨大ヒルでした」
一同「もうやだ～」
近藤「ナイスタイミング！　【特別天然記念物の島ヒル】を手に入れたよ。私は島の母になる！」
コー「もうとめられないー」

■第１５ラウンド

そして運命のタイマーが鳴る。
つばさ「【相方がチャクラに目覚める】……杏里？」
GM「ド根性杏里がチャクラに覚醒しました」
つばさ「チャクラパワーで近藤を底なし沼に突き落とす……成功！」
近藤「島は私の子だもの、怖くないよー」
カモ「カモちゃん砲！」
近藤「回避！　母は強し！」
コー「【壁サークルの新刊】……っ、つかえない……さっきみつけた【ハム太郎】をめでてます」
GM「悟りの境地ですか。では久々の爆破判定……カモちゃん！」
カモ「うわー、どっかーん！」
コー「ちょっとまてい！　コーもカモちゃんにくっついてるんだけど……」
GM「誘爆判定ですな」
コー「うそー、死んだー」
GM「残るは近藤とつばさの二人！　遂に一騎打ちです！」

■第１６ラウンド

近藤「【誰かの武器を奪う】、カモちゃん砲でつばさちゃんを攻撃！　カモちゃんさんの仇ー！」
つばさ「あたしじゃなーい！　回避成功！」
一同「おおっバリアー！？　さすが超能力少女！」
つばさ「間違いなく今あんたが悪だ！　【ロングソード＋１／ドラゴン＋３】で攻撃！　命中！」
近藤「そんなひどいよ～、受け成功！」
幽霊カモ「ゆーこちゃん、強いなあ～」

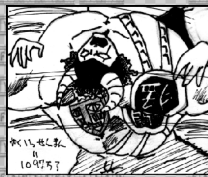
■第１７ラウンド

近藤「【バースのサイン入りバット】！　ええッ勿体ない～！（阪神ファン）」
つばさ「切り捨てる！　うあ、失敗！」
近藤「ほっ」
つばさ「ヤバいなあ。とりあえず相手が全裸で鬱陶しいので、【セーラー服（生写真付き）】を着せます」
近藤「わー。ありがとう。いい人だー」
つばさ「真っ向からは分が悪そうなんで、マクドに逃げ込みます」
GM「次のラウンドに到着です」

■第１８ラウンド

つばさ「【３歩先が地雷源】…って、わたし今走ってる」
GM「生死判定」
つばさ「い、生きてます～っ（泣）　マクドに駆け込む！」
近藤「駆け込みざまを虎徹で狙撃、命中！」
つばさ「うわ、肉弾戦も遠距離戦も負けてるっ！　でも避けた！」
幽霊毒重「背後からの命中弾だぞ？　予知能力か？」
幽霊カモ「超能力少女ってすごいわ～」
近藤「タイマーが～。このまま１／２の確率にゆだねるのはイヤ～」

■最終ラウンド

つばさ「なにこれ？【姫君を困らせる３つの難題を考える】……うーん……」
近藤「何でも良いから、早く考えて！」
ここで最後のタイマーが鳴る！
近藤「ガーン！」
つばさ「うーんうーん」
GM「いや、そのネタは流してええから」
つばさ「ロングソードで斬りかかる！」
GM「その前に地雷判定」
つばさ「そんな……成功！　ありがとう杏里のチャクラ！」
近藤「ウソっ」
つばさ「てりゃあ、ラストチャンス！」
近藤「受け！　返す刀でとどめよ…成功！」
つばさ「ダメ、受け失敗です」
GM「つばさ死亡。と同時にすべての首輪が外れました。近藤の優勝です」
近藤「やったぁ☆」
一同「うわあ～！　こいつにだけは勝たせたくなかったァ～～」

《おまけ：使われずじまいの地獄のロングホーンドレイン（投稿者：夢十夜）》

■次回ファンタジーライアー

あなたのエロゲーショップは未開拓のユーザーが眠る街へとたどり着きました。そこは、エロゲー島と呼ばれています。しかし、あなたはただ一人の発見者ではありませんでした。平和な島で、エロゲー戦争が始まったのです！　ショップチェーンを展開し、交易で優位を保ちつつ、島のユーザー独占を目指してください。

【目的】エロゲー島に独占市場を築く　【舞台】エロゲー島（台東区）

ファンタジーライアーは作品世界を超越したボードゲームっていうか、カタンっていうか、とにかくマルチックなゲームです。ライアースタッフが実際に各キャラになりかわってプレイします。応援するキャラが勝つと気分がいいうえに、運が良ければ賞品が当たります。

■ルール

イベントカードに登場させたい「ライアー作品のキャラクター」、流通させたい「エロゲーのタイトル（他社製品も歓迎）」をそれぞれ考えて送ってください。投稿内容を、おおいに参考にしながら、こちらでカードを作成します。キャラクターに絡んで、またはゲームに絡んで、起こすアクシデントの提案などありましたら、補足欄にどんどん書いてください。

（例）キャラクター「クローエ」／流通させたいゲーム「行殺新選組」／
補足欄「クローエは勿論ネリチャギ。行殺はマニュアルにまでトラップが？」

■賞品

目的を達成し、優勝したキャラクターと同じ作品のキャラクターを投稿された方から抽選でお一人に、豪華（？）賞品をお送りします。また各キャラが引いた、印象に残ったカードを提案してくれた方にも賞品をさしあげます。参加人数の少なさそうなチームが狙い目。

■前回の当選者発表

●優勝『行殺グッズ４種セット』　【Ｂチーム】死んでも死にきれん【しのぶ】

●チーム賞『行殺グッズから１種ランダムで』
【Ａチーム】いつぞやのドワーフに変身【宇宙クラゲ】
【Ｂチーム】なし（せっかくなので投稿が多かった【Ｄ】チームに委譲）
【Ｃチーム】ブルマーあんどブリーフクロス！（別名：投げキッス）【桐島れいと】
【Ｄチーム】首輪を鎖でつなぐ【ｔａｎｉｓｈｉ】／メガバズーカ・イケニエ砲【球玉】

今回の登場キャラクター

エロゲ屋界の開拓王を目指すのは以下の５人

"ゼウスリーダー" 誠司

ちょ～イタ～素晴らしき超能力人生～

特殊能力：悪の威厳。盗賊に盗まれた資源を
２分１の確率で横どりする。

土方歳江

行殺新選組

特殊能力：資源カードがゼロのとき、
誰かから１Ｄ６枚押し借りできる。

レオナ６６　通称"Ｂ"

ぶるまー２０００

特殊能力：ぶるまー５枚でジャイアントブルマを召喚、
ショップを破壊する。

ヘレナ・ブルリューカ

サフィズムの舷窓

特殊能力：風紀委員的指導。盗賊による被害を
２分の１の確率で無効化する。

根越栄太

ラブ・ネゴシエイター

特殊能力：ネゴバトルでつねに＋２の修正。

※応募は郵便ハガキ、封書、Ｅメールで。送り先は下記のとおり。
［ハガキ］〒162-0067　新宿区富久町16-9御苑フラワーマンション305　ライアーソフトＦＣ投稿係
［e-mail］webmaster@liar.co.jp
メールの件名（subject）は「ＦＣ投稿：ファンタジーライアー」でお願いします。
【締切は１０月１３日必着！】

※参加はＦＣ会員の方で、一人１通のみ有効。
※ゲーム内のルールは心の準備なく変更する場合があります。
※本ゲームへのマジな質問はご遠慮ください。

キリトリセン　　キリトリセン

FANTASY LIAR 参加用紙（コピーしてお使いください）

①登場キャラクター	⑧その他・イラストスペース
②流通させたいゲーム	
③補足欄	
④次回登場希望キャラ	

⑤会員番号	⑥氏名	⑦P.N.

LIARMENS CEMETARY
ライアー没企画列伝

光あるところに闇は生じる。これは逃れることのできない自然の摂理というものだ。
「ちょ〜イタ」「行殺☆新選組」「ぶるま――2000」「サフィズムの舷窓」と輝かしい経歴を残してきた諸君の愛するライアーソフトにも、当然、けして光の射さぬ暗部が存在するのだ。
今、その地の底を、永きにわたって閉ざされ続けたヴェールを切り払って、明らかにしよう。絶望の中であえぐだけの者達に、今一度、陽の光を投げかけよう。
甦るがいい！　辺土の深きで呪詛の声をあげ続ける、ボツ企画達よ！

相変わらず、存亡の危機に立たされています、このコーナー。なんせ、思いつきで始めてみたものの、主旨からして自家中毒さながら。なんか知らぬ間にコーナー担当になってしまったとたん裏切り者だの、こうもり野郎だの、ねずみ男だの、ＳＳだの言われ放題。ナイーヴな担当の心はズタズタに傷つけられ出社拒否一直線です。ああ、私の心を癒して……。どうか神様、素敵な没企画との出会いを……。
な〜んてな。さ〜て、今回も行ってみようか、没企画列伝！　敗者の呪詛は勝者のエネルギー。ドブに落ちた犬は底まで沈めてしまえってんだ。勝ちたければ徹底的にやれ。負けた者は骨までしゃぶれ。過酷な生存競争の果てにこそ、強い作品は生まれるのさ。
今回は、そんな栄光と挫折の分水嶺、ライアーソフト企画会議の模様をライブでお届けしちゃいましょう。

都内某所（て、事務所やん）にて、大安吉日を選んで行われる企画会議。神棚に向かって手を合わせた後、おのおの、発言の公平性を守るために覆面をつけます。照明は落としてロウソクに火を灯し、準備完了。会議の始まり始まりです。
企画提出者は、自分の魂をこめた企画書を前日までに参加者全員に配布します。大物になるとＡ４で百枚をこえたりするので、あらかじめ目を通しておくためです。当日配布は端から端まで目を通してもらえないのでリスクを伴います。こう言ってるにも関わらず、当日直接提出者が後を絶たないのは内緒。ブランドのイメージに関わりますから。
まずは企画提出者が演台に上がり、この企画はライアーソフトのために作られたものであり、採用の際には身命をなげうって完成させる意志があることを宣誓します。その後、配布済みの企画書に対して簡単な補足やアピールを行い、参加者の審査を待ちます。いずれ自分が登るかもしれない被告席へ浴びせかけられる参加者の言葉はシビアです。しかしこれも、より素晴らしいライアー作品を作るため。
Ｙ「広告戦略まで視野に入れたウリが見あたらない。ユーザーがぱっとこのソフトを手にとった瞬間に引きつけられるものがほしい」
Ｍ「制作期間を考えると、規模が大きすぎないか？」
Ｈ「この部分は面白い。だけど、こうした方がもっと面白い」
Ｔ「いやいや、こうした方がもっと」
Ｓ「メガネっ娘がいない」
Ａ「ロリがない」
真摯であればこそ、企画への意見は鋭さを増す。安易な思いつきだけで、その場に最後まで立っていることは不可能。一瞬の閃きを自ら叩き、Ａ４の紙に書きつけ、なおかつ、あらゆるツッコミをかわし、はねのけ、論破しえた企画だけが、最終審理へと進めるのです。うう、苛酷ね。
かくして、厳しい審査を終えて残った企画書達に対して、ライアースタッフ達が投票を行います。水面下でさりげなく威圧合戦なんかもおこなわれてたりしちゃったりしながら、そこで上位に残った企画書は蔦で編んだ籠の中に納められ、事務所のある御苑フラワーマンションの屋上に一晩置かれます。その夜のあいだに何が起こっているのかは秘中の秘とされ、残念ながら報道陣はシャットアウト。原住民の伝承によると、数百世代も前に、その屋上から旅立っていったという伝説のライアーメンが、捧げられた企画書の匂いにひかれて舞い降り、次に開発するべき企画を残して去っていくそうです。その夜は企画書を見て笑ったり怒ったりする声が屋上から降ってくるそうですが、しきたりに従って居酒屋へと繰り出しているスタッフには聞こえないそうです。う〜ん、ミステリー。

そんな企画会議でとれたての没企画。早速今回も紹介してみましょう。

タイトル：『マジックダイス』
提出者：Ｉ太郎

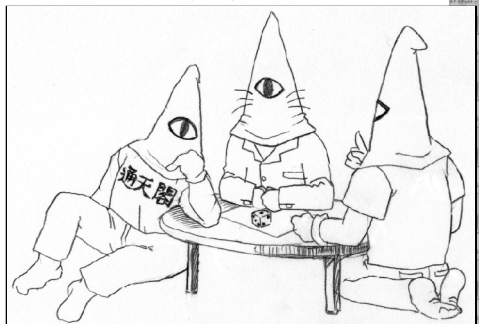
概要：
失踪した大魔法使いの孫である主人公が、その後継者を名乗る魔法少女アイドルと、世界を改革するためになんでも双六にしてしまう『マジックダイス』で勝負する。もちろん、罰ゲームはウハウハだ！
企画のキモはオリジナルの盤面も作れる拡張性と、ネット対戦ができること。ユーザーが自分から参加できる話題性を生み出すことを主眼に置いている。

では、提出者の方、どうぞ。
Ｉ太郎「うわ〜、いやだ〜！」
そんないやがらんと。
Ｉ太郎「今までひとごとだったけど、かなりヤですね、これ」
はっはっは、では、敗因をどうぞ。
Ｉ太郎「まず仕様がエロくない。バラエティー番組風にお色気シーンが展開するのを考えてたけど、それだけじゃダメですよ。ダメでした。今、読み返してもドキドキしないし」
エロは常に企画のハードルのひとつだねぇ……。副題についてた『凄六』については？
Ｉ太郎「双六だけ、ではおまけに見られてしまうってのがありますよ。リーフとかがファンディスクでやってることを一本のタイトルでやったら、割高感強そうって」
うむうむ。
Ｉ太郎「あと、この企画、特に強く叩かれたって印象がないです……」
ありゃ。ある意味それはつらいねぇ……。では、次回の没企画列伝への抱負を。
Ｉ太郎「企画会議参加者全員がこのコーナーに出るまで、絶対にやめないでください。つーか誰一人、この嫌な気持ちから逃がすな」
応援ありがとう！　頑張るよ！　さ、シュレッダーはあちらです。ご苦労様でした〜。

というわけで、今回の没企画列伝はここまで。このコーナーでは投稿も受け付けています。あなたの考えた天下のとれる没企画、敗者にむち打つこれまでの没企画へのツッコミなどをお待ちしてます。
今回、取り上げるべき投稿は残念ながらなし。このコーナーですら没をくらってしまった方達は、次回までに、何をあらためるべきなのかをレポートにまとめて提出しても可です。このコーナーはいつでも君達の挑戦を待っています。没だけどね。

次回〆切は１０月１５日（月）必着です。投稿……お待ちしております。

▼和やかな雰囲気の中で行われるライアー企画会議。ただいま『マジカルダイス』を検討中。
イラスト：しまさらゆめき（所要時間５分・コミケのサークルカットより短いでやんの）

「ユリユラ」

発行 ●牛久屋／田口薫
ジャンル ●サフィズムの舷窓／全年齢
版型 ●B５／２０P
入手方法 ●80円切手３枚＋宛名カード

▼サフィズムをネタにした、４コマギャグ本。一部ネタバレ有なので、全ルートクリアした人向け

秘かに４コマまんが仕立てな所がツボです。ネタも面白いし、全てのエピソードで主役がちゃんと杏里なのが○かと。昔、サ○ラ大戦本を作ったら、大神本になっちゃった…みたいな。それはともかく、暴れん坊プリンセス早く出ないかなあ……。
【K. TEN】

《通販問い合わせ先》〒300-1222　茨城県牛久市南７−５−１４　田口薫

「行水☆新鮮組＠でじたる」

発行 ●肉じゃが屋／告月
ジャンル ●行殺・サフィ他／成年向
版型 ●CD−ROM×１枚
入手方法 ●イベントにて

▼本では白黒となっていたＣＧ原稿をカラーで収録したＣＧ集。（申し訳程度の）新作に加え、サフィズム人気投票で連載（？）された萩本氏のニキＳＳもイラスト付きで完全収録。３００ニコル。

ライアーオンリーのＣＤというわけではないけど、左のはじめちゃん（この呼び方イヤ）の他にも多くのライアーキャラの画像が収録されており、他社の作品が分からなくても十分満足できる。ショートストーリーも楽しめて２度お得な感じ。しかし丸っこいカモちゃんさんのＣＧは可愛すぎます。
【コーナー担当】

「幕末凶食絵巻」

発行 ●KU〜MA☆どっとこむ／ま〜く
ジャンル ●行殺新選組／全年齢
版型 ●B５／２０P
入手方法 ●冬に加筆オフセ発行予定

▼ＷＥＢで公開したマンガの完成版。風邪から復帰した島田と沙乃は、全快祝いに隊士達の手料理を食べさせてもらうことになるが……

登場キャラクターの個性が立っていてとてもテンポがいい。行殺世界では貴重な良心と言うべき沙乃が受けに回ってしまうと後は総ボケ軍団で土方さんは苦労性だなあ。それにしてもあのぶっとんだゲーム内容を元にこれだけ正統派で面白いギャグ漫画を描いてしまうのは凄い。凄するぎ。
【やんばる】

担当より

今回は掲載希望が１冊だけでしたので、後の２冊はスタッフが夏コミで発見したライアー関係同人誌からピックアップしました。他にもたくさん紹介したい本があったのですが、主にビジュアルブックに譲ることにします。

その夏コミですが、やはりというかほぼ全部行殺本。もちろん行殺本もどしどし扱っていくつもりですが、他のゲームの同人誌はより強化してきたいと思います。このさい周囲の告発（ひどい言い草）でも構わないのでどしどし応募プリーズ！

次回〆切は**１０月１５日（月）必着**です。投稿お待ちしております。

◎掲載要項です。このコーナーで掲載できる同人誌は、ライアー作品をメインで取り扱ったもの（他社作品との合同誌でもＯＫです）に限らせていただきます。以下のデータを別紙などにお書き添えの上、『ＦＣ・同人誌』宛まで、見本誌と一緒に郵送してください（見本誌の返却は出来ません。ご了承ください）。
以下の、①〜⑦までの項目をご記入ください。

①本のタイトル　②サークル名／主催者の名前（ＰＮ）
③ジャンル（ゲーム名）／18禁or全年齢　④版型／頁数
⑤入手方法（イベント・通販など）　⑥内容（50文字程度）
⑦コメント（弊社スタッフが感想などを書きます。誰の感想が欲しいか希望があれば書いてください）

次号の発行は１１月末なので、冬コミ新刊の告知イラスト、文章も投稿受付いたします。サークルＰＲの場として是非ご活用ください。コミケ以外のイベント告知でも構わないですよ〜。

コミックマーケット60＆ワンダーフェスティバルレポート

■ワンダフル ワンダーフェスティバルレポート

はぁるばるぅ来たぜ、ありあっけ～☆
なぁんて歌い出してみたものの、どっかでこのネタ使ったような。
出だしはさておき、時は折しもコミケの一週間前、嵐の前にも似た静寂に包まれる（高校生ロック大会とか慎ましくもにぎわしくやってたけど）この地で、まるで炭火のような熱を帯びた『ワンダーフェスティバル2001リスタート』へとやってまいりました。海洋堂さん主催のトイ、ガレージキット、フィギュア、ドールをメインに扱ったイベントです。
それはなぜかと問われると、ですね、なんと今回、行殺（はぁと）新選組のフィギュアを作って参加してくれた方がいるんですよー。父ちゃん、母ちゃん、俺、エロゲー作っててついにここまで来たよ！（言ってないけどなー）
当日版権がらみで首尾よく入場券を手に入れた我々は、首からゲストの札をさげて（個人的にはＶＩＰの札が欲しかったり）会場内へ。
コミケよりも広く、はるかに広く感じられる東館。諸般の事情で事前チェックを怠っていた我々は拙い記憶を頼りに、行殺フィギュアの待つディーラーさんのスペースへ一直線。二直線、角を曲がって三軒目。という感じで会場内を彷徨ったりもしたものの、なんとか現物をリアルにこの目におさめることができました。我々の目の前でいそいそと木箱にバラバラ沙乃（フィギュアだからね！）を納めているのを見たり、目の前で売られていく副長を見たり（気分はドナドナ～）。当日のハイライトはこちら！　デジタルの目でドン！
凛々しくも笑顔で刀を構えた近藤局長です。これがまた、大きい！　きれい！　すでに完売！　無念！　会場から2時間足らずだったのに……。買っても色塗れないから仕方ないかもしれないけど……。
いくつかの思い残しはあるものの、堪能してきました。またこういう機会を得るためにも、我々はゲーム作っていくですよ。それでは次は、一週間後、夏のコミケ大決戦のリポートです。

■夏に弱いへろへろ広報 コミックマーケット60レポート

メーカー創設から（約）2年9ヶ月。遂にライアーソフトがコミックマーケットに出展！　……とは言っても自社の企業ブースではないんですけどね。今回は、とらのあな様より行殺新選組のグッズ化＆夏コミ先行販売を記念して、3日連続のイベント取材（兼便乗販促兼便乗営業）に出かけて参りました！　行殺グッズ販売の現場情報を中心に、極めて素人的な目から企業ブースの裏側などもお伝えしてみます。

初日、入り方が分からないので、一般サークルの波にくっつき、入り口でスタッフに聞いて案内して貰う。おお、オープン前の企業ブース！　あちこちで最終設営やらリハやら列誘導の訓練やらをしていて、否応なく企業っぽい。とらのブースはまだ設営の追い込み中で、居ても邪魔になるだけっぽく、挨拶回りをして時間を潰す。とらさんの斜め前にはゲーマーズさんのブースがあり、過去作品のトラウマでなんとなくプレッシャー。良かった、B2Kのムービー流してなくて。更に目の前は小学館のブースで、さかんに「犬夜叉」のムービーが流れており、禁句っぽい未発売タイトルが頭をよぎるが、慌てて思考を切る。

とらのあなの担当さん（行殺をプレイして新選組に目覚め、京都まで取材に行った強者）から借りた隊服と手甲を付け、待機。開場までの空気などは、一般も企業も余り変わらないもので。開場の合図と共に、群衆が走り抜け、壁に列が出来るのも一緒。とりあえず、通路に出てチラシを配布。小一時間で小休止。暑い、空気が薄い。燃料（コーヒー）で気合いを入れ直しつつ、再突撃。18禁なので手当たり次第とは行かず、渡す相手を選びながらの作業。せっかくなので、普段はなかなか情報を見てくれ無さそうなお客さん……女性やらネクタイの人やらを狙い撃ち。案外、そういう人の方が余裕があるためか、受け取り拒否はしないもので、でも企業ブース出口のゴミ箱にチラシが溢れてたらブルー、とか思いつつひたすら配布。視界が白くなってきたので休憩所へ。同席したコミケスタッフさんから企業ブースは1日目がピークで、2日目、3日目と徐々に人手が減っていくとの情報をキャッチし、現金にも立ち直る。上手くすれば3日で痩せるかもだし。コミケダイエットか？

物販は順調。行殺グッズを明確に目当てにして来てくれるお客さん1／2、残りの更に半分が通りかかってそれと気付く人、もう半分が知らないけど興味を持つ人。お客さんとの会話抜粋。「カモちゃん砲は売ってないんですか？」「武器禁止ですから」「鉄扇は（以下略）」「武器（以下略）」「その隊服売ってください」「嵐山か日野に行ってください」「なんで行殺グッズなんですか」「何でそんな事聞くんですか」「（扇子を見て）WOW～」「（うわガイジンだー）」「最遊記だー」「まったく全然違います」「G-TASTEトレカのSPカードは……」「よくわかんないです」「シャルラクのブースって何処？」「あの辺です」「行殺のバグ……」「ごめんなさい」とりあえず、隊服姿はこの混み合った会場でも目印になるようなので、出来る限りちょろちょろして宣伝。昼過ぎると漸く落ち着いてきたので、他の様子も偵察。うーん、同業者のブースは大半がユーザーへの情報発信よりも商売を前面に出している印象で、あまり共感できない。コミケって営利空間じゃないから、それを企業が助長してどうするんだろう。やり方も良くも悪くも「プロ」っぽく、もうちょっとアマチュアっぽくて良いんじゃないかな。ともあれ、初日は臨界点オーバーの疲労を抱え、帰社。酒瓶を抱いて寝る。

2日目は、知人から借りた和服・隊服・足袋・雪駄を装備。暑い、（足が）痛い。1日中フラフラと彷徨うが、流石にこの格好だと広告塔としての効果は抜群。自分で思っていた以上に変に目立っていたようで、周囲の指摘により不意に恥ずかしくなり、トイレに引き籠もり。スタッフさんに怒られる。メーカーの広報さんも大変ですね、とありがたい労りのお言葉を賜るものの、冷静に考えるとここまで広報がやる必要なく（ウチとニトロ＋さんくらいです、そんなん）、半ば楽しんでいる自分に気付き、開き直って活発に動き回る。2日目の時点でグッズも販促物も予定量を配布できた。嬉しい。電池が切れたように寝る。

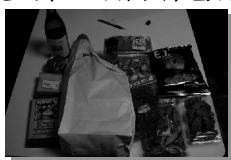
最終日は睦月たたらんが助っ人に。これで作業量半分な上、人出も目立って少なく、非常に楽に過ごす。追加で持ってきたチラシ、体験版も順調に無くなる。美しいカモちゃんさんと副長のコスを見かけ、舞い上がった勢いでとらのあなのチラシも配布しているウチ、終了。挨拶を済ませ、一般で出ていたスタッフと合流し、飲み会に行ってやはり過度の酒を入れ、そのまま帰宅。久しぶりの自宅のベッドで動物臭にまみれて寝る。

とにかく今回感じたのが、企業ブースの大変さ。かなりなめてました。とは言ってもあそこまでやる必要があるのかどうかわからないけど。いつかライアーが出る時のためのネタも蓄えられ、メーカーとしても個人的にも大いに勉強になりました。お買いあげくださった皆様、差し入れをくださった方、様子を見に来てくれた出版社やメーカーの皆様、とらのあなの皆様、どうもありがとうございました。

P.S. 体重は3キロ落ちましたがその分体力も落ちました。2週間掛けて体力戻したら、体重も戻りました。てへ。

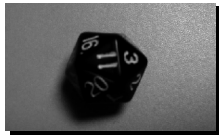
古来マンガ家とソフトハウスには全国津々浦々より、さまざまな食物が届けられると云う―――

主な材料

【白（チリ産）ワイン／エメンタールチーズ／グリュイエルチーズ／フォンデュの元／とろけるチーズ／空豆／フランスパン／ハバネロペッパー／尾道海の珍味／オリジンの唐揚げ／野菜天／スモークソーセージ／ＥＴスナック／蚕の缶詰】

いきなり２０面ダイス

【調理法決定表】

０１　生
０２　煮る
０３　焼く
０４　揚げる
０５～１１　チーズフォンデュ
１２～１９　もんじゃ
２０　天京院

Ｋ．ＴＥＮ「フォンデュ～」
同日収録のファンタジーライアーに参加すべく会社に来てしまったＫ．ＴＥＮ氏。ゲストの定めとしてやむなくダイスを振るはめに。たっての希望で（材料もそういう方向性だし）フォンデュのダイス欄を広く取ってみたが、それでも確率的には１／３以下。緊張の一瞬。

やんばる「……フォンデュですね」
Ｋ．ＴＥＮ「ありがとう俺」
皆が一様にほっとする中、さっさと調理の支度に入るやんばる。今一度説明しておくと、調理法決定表でもんじゃの場合はめておが、それ以外はやんばるが調理する。参加メンバーに食材の裁断を任せ、ガーリック・コーンスターチなど、フォンデュ用の繋ぎを買い足す。
やんばる「とりあえずフォンデュ鍋ないんで、普通の鍋でやりますけど？」
めてお「良いんでない？」
天野「フォンデュって家庭で食べるの初めてっすよ」
やんばる「僕も作るの２度目」
一同「…………」
でも何ら難しい所など無いフォンデュ作り。鍋のフチにニンニクを付け、ワインを暖めて、コーンスターチを適量混ぜチーズを順番に溶かす。固まらないよう焦げないように回し続け、チーズとワインの量を調節。基本的にこんだけ。何て単純。
やんばる「出来たニョロよ～」
登山「単純な料理だなあ」

それにしても普通の鍋で作るフォンデュの、なんと貧しそうなビジュアル。下の新聞紙と、和風食材が侘びしさを際だたせる。
Ｋ．ＴＥＮ「うわ、このパンうまっ！」
登山「どれどれ、……本当だ」
やんばる「流石クイーンズシェフだ」
ザマス系の奥様に白眼視されても、高級食材はクイーンズシェフに限るのである。ちなみにワインとチーズもクイーンズシェフ。非庶民の強い味方だ、クイーンズシェフ。

鍋の性能と、コンロの火力の問題で、徐々に味が劣化してしまったが、ここまでは只のフォンデュ。
めてお「チーズが足りなくなったね」
やんばる「そうですね……ってアンタ何冷凍庫から出してるさ？」
めてお「……チーズ？」
やんばる「……それ何年物ですか」
何処まで氷かチーズか判らない固体を鍋にぶち込む。なかなか溶けない上に、冷凍庫の氷の臭いがする。臭い消し兼毒消しに、残りのワインを全部ぶち込む。
やんばる「あはははは、酒くさー」
Ｋ．ＴＥＮ「あー、残ったの飲もうと思ったのに！」
ワインそのものの臭いがする鍋の中で漸くチーズが原形を留めなくなる。第２ラウンドスタート。
しまさら「うわ、ワインきつっ！」
たたら「確かにこれはワイン強くないとヤバイなあ」
一部の人が悪酔いしかかりながらも、第２ラウンド無事終了。
Ｋ．ＴＥＮ「僕はそろそろ帰……」
めてお「じゃあ、そろそろ開けようか」
誰もが（意図的に）忘れていた禁断の食材を、平然と持ち出すめてお。
しまさら「でも、それ本当に虫ですよ」
めてお「でも食材だ」
やんばる「そもそも、それ僕個人への差し入れで……」
めてお「今日ここにある以上は食う」
開封。皆、逃げる。怖々寄ってくる。見る。

※編集註：ここから先は心臓の弱い方は見ないでください。本当に。

……後悔する。最悪のビジュアルだ。見ちゃった人、ごめんなさい。退会しないで～。一応、半泣きになりながら（除く１名。何故平然と食う？）全員食したので、感想。

Ｋ．ＴＥＮ「とりあえず、日記のネタが出来て良かったです」
やんばる「見た目も味もそのまんまは卑怯」
登山「プチプチの後のザラザラが……」
犬太郎「噛めば噛むほど、捨てられたボロ雑巾を煮たような味が染み出す」
しまさら「…ボクはお母様から頂いた体を大切にしたいです…蟲キライです」
天野「飢え死んだ方がマシっす」
たたら「普通にマズイ」
めてお「全然食えるじゃん」
なお、最後に食したハバネロペッパーなる激辛調味料。確かに危険な辛さだったが、液体じゃない分サドンデスよりマシ、との意見が大半。一部スタッフはぽりぽりピクルスみたいに囓っていた。ライアーメンの辛い物袋は丈夫です。

責任持って調理します。
材料提供大歓迎！

お送りいただいた食材は、半分を各自で分配し、残りを社会鍋の材料とさせていただく。虫すら通過した我々の次なる希望は「郷土の珍味」。土地土地の郷土色溢れる食材を一箇所に集わせ、食してみたい。無論、手近な材料で結構。皆の食材提供を待つ。

街の巨匠に感謝

【白（チリ産）ワイン】【チーズ２種】【フォンデュの元】やんばるがクイーンズシェフで購入／【激うまフランスパン】めておがクイーンズシェフで購入／【とろけるチーズ】冷凍庫から発掘／【空豆】めてお私物／【ハバネロペッパー】キムンさん／【尾道海の珍味】桜瑞先生／【オリジンの唐揚げ】登山の夜食／【野菜天】しまさらの夜食／【スモークソーセージ】犬太郎の夜食／【ＥＴスナック】やんばるＵＳＪ土産／【蚕の缶詰】某即売会でやんばるに差し入れ

―――ご提供ありがとうございました。

殿堂入り

虫類

※ライアーは食べ物を選びなさい。

Direct shopping for fanclub only.

おみやげ物うりば

How to order your favorite items.

GAMESOFT／BACKNUMBER

１９９９年７月発売のライアーソフト第１弾『ちょ～イタ～素晴らしき超能力人生～』は販売を終了いたしました。現在、追加生産は行っておりません。

『行殺☆新選組』 GYOSATSU SHINSENGUMI

ライアーソフト第２弾は
人斬り美少女アドベンチャー』！

舞台は幕末の京都。幕府転覆を目指し跳梁跋扈する悪のキンノーに対抗すべく敢然と立ち上がった『新選組』！

その新選組に入隊したばかりの主人公は，美少女隊士に囲まれながら，悪を斬り，また悪を斬り，たまには息抜きで温泉にも行ったりしつつ，日夜奮闘を続ける。

無事『池田屋事件』をくぐりぬけることが出来るか？

想いはヒロインへと届くのか？

２０００年４月発売　通販価格　７０４０円

『ぶるまー２０００』 BLOOMERS MILLENNIUM

ライアーソフトが放つ第３弾は
『ブルマニアックアドベンチャー』！

すべての発端は，月で発見されたブルマにあった。

偶然から，『神のブルマ』を巡る争いに巻きこまれ，その所有者となった常葉愛。その日から，彼女の平凡な日々は終わりを告げた。

次々とあらわれる敵に，ブルマの力を使って対抗する愛。戦いは激しさを増し，愛はおおいなる意志がその根底に流れていることに気づく。その意思とは，そして愛の身体に隠された秘密とは？

２０００年１０月発売　通販価格　７０４０円

『サフィズムの舷窓』 THE CASE OF H.B.POLARSTAR

ライアーソフトの第４弾
『耽美推理アドベンチャー』！

世界最大の豪華客船にして，各国ＶＩＰのお嬢様ばかりを乗せた学園船，Ｈ．Ｂ．ポーラースターで楽しい日々を送っていた，年下好きのレズビアン杏里・アンリエット。平和な学園で突如発生したレイプ事件。学園側に犯人と決めつけられた杏里は，３週間以内に真犯人を発見できなければ，船を降りねばならない。

親友の大天才「天京院 鼎」の協力を得て，杏里は事件究明へと乗り出した。

２００１年５月発売　通販価格　７０４０円

※こちらの製品には，只今通販特典として，Ｈ．Ｂ．ポーラースターを舞台にしたボードゲーム「サフィズムの船窓」がもれなく付いてきます。

『ラブ・ネゴシエイター』 LOVE NEGOTIATOR

ライアーソフトの最新作
『不条理ネゴベンチャー』！

ＡＤ２０３０。舞台は東京湾上に建設された新首都。その片隅に，恋愛交渉人として雑居ビルに事務所をかまえる主人公・根越栄太の前には入れ替わり立ち替わり，愛を知らず，愛に迷い，愛をはき違えた少女達が現れる。

彼女達を説得していくうちに，根越はいつしか，この都市に潜む巨大な陰謀へと巻き込まれていく。次々と起こる事件を縦糸に，根越に関わる女性が横糸として絡み，都市（まち）という巨大な人間模様を織り上げていく。

本格ハードボイルドコメディの幕が開こうとしている。

２００１年９月２８日発売　通販価格　７０４０円

※こちらの製品には，只今通販特典として，キャラクター名刺セットとケース，データＣＤ－ＲＯＭの「ラブネゴ名刺キット」がもれなく付いてきます。

月刊うそ。バックナンバー

現在ご購入いただけるのは以下のバックナンバーです。各号とも**１冊４００円（税込・送料込）**です。複数冊ご希望の場合は，冊数×４００円お支払いください。

通販は現在，**郵便振替**，**郵便小為替**，または**８０円切手**で受け付けております。小為替の場合は，ご購入からなるべく１ヵ月以内のものをお願いします。受取人は無記入にしてください。郵便振替の場合は，通信欄にご希望の号数と冊数を明記してください。為替・切手の送り先は奥付の住所まで。必ずご希望の号数と冊数を明記した紙を同封してください。

只今の在庫状況［◎余裕あり○そこそこ△在庫少▲あと僅か！×在庫なし］

第１号［▲］

第２号［○］

◎通信販売について

ゲームソフトには郵便振替，銀行振込，現金書留がご利用いただけます。

①郵便振替の場合

００１４０－１－６００１８４

加入者名　㈱ビジネスパートナー

※通信欄に希望商品名・配達希望曜日／時間をお書きください。氏名・住所・ＴＥＬも記入欄に必ずお書きください。

②銀行振込の場合

富士銀行　新宿支店　普通口座５４３１１８１

加入者名　㈱ビジネスパートナー

※入金後，控えをＦＡＸまたは郵送で弊社までお送りください。その際，住所・氏名・ＴＥＬ・ご希望の商品名・ご希望の配達曜日／時間をお書き添えください。

【控えの送り先】

（ＦＡＸ）０３－５３６３－５３１８

（郵送）〒162-0067　東京都新宿区富久町16-9

御苑フラワーマンション305号室

Ｌｉａｒ－ｓｏｆｔ『通販』係

③現金書留の場合

※上記の住所まで，現金書留で代金をお送りください。封筒内に氏名・住所・ＴＥＬ・ご希望の商品名，ご希望の配達曜日／時間をお書き添えください。

ゲームソフトは，宅急便の着払いでお送りしております。受け取り時に送料をお支払いください。

GYOSATSU GOODS

行殺☆新選組グッズ会員優待通販

コミックマーケット６０で先行販売され，ご好評いただきました行殺グッズを，会員通販用に数量確保いたしました。現在，全国とらのあなショップでも発売中ですが，かなり品薄です。是非この機会にお求めください。

クリアファイル４枚セット
会員価格　１,０５０円（通常価格１,２００円）

絵はがき８枚セット
会員価格　７００円（通常価格８００円）

湯呑み
会員価格　７００円（通常価格８００円）

カモちゃんさん扇子
会員価格　１,０５０円（通常価格１,２００円）

◎通信販売について　グッズの通販には郵便振替，銀行振込，現金書留，郵便小為替がご利用いただけます。

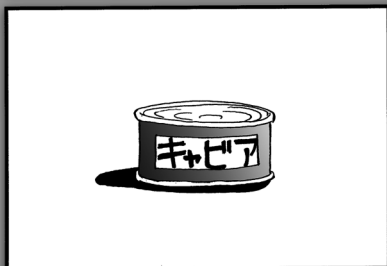
①郵便振替の場合
００１４０−１−６００１８４
加入者名　㈱ビジネスパートナー
※通信欄に希望商品名をお書きください。会員番号も記入欄に必ずお書きください。

②銀行振込の場合
富士銀行　新宿支店　普通口座５４３１１８１
加入者名　㈱ビジネスパートナー
※入金後，控えをＦＡＸまたは郵送で弊社までお送りください。その際，会員番号・ご希望の商品名をお書き添えください。
【控えの送り先】
（ＦＡＸ）０３−５３６３−５３１８
（郵送）〒162-0067　東京都新宿区富久町16-9
御苑フラワーマンション305号室
Ｌｉａｒ−ｓｏｆｔ『通販』係

③現金書留の場合
※左記の住所まで，現金書留で代金をお送りください。封筒内に会員番号・ご希望の商品名をお書き添えください。

④為替の場合
※左記の住所まで，郵便小為替で代金をお送りください。ご購入からなるべく１ヵ月以内のものをお願いします。受取人は無記入にしてください。封筒内に会員番号・ご希望の商品名をお書き添えください。

※グッズは，エアパックに入れて普通郵便でお送りいたします。梱包代，送料として３００円（湯呑みは５００円）追加してください。２個以上の場合は５００円（一律）追加してください。

かたゆで　　仏さんじょ

今月のお父さん
働き者編

《お便りの宛先》

〒162-0067　東京都新宿区富久町16-9
御苑フラワーマンション305号
TEL.03-5363-5317　FAX.03-5363-5318
e-mail webmaster@liar.co.jp

各投稿には『ＦＣ投稿・●●係』とコーナー名を明記してください。

第４号の掲載〆切は１０月１５日（月）必着になります。

ライアーソフトファンクラブ会報
『月刊うそ。』第３号
年４回季刊発行　2001年8月31日発行
発行：（株）ビジネスパートナー　ライアーソフト
編集：山原久稲
デザインサポート：しまさらゆめき
表紙・４コマ：仏さんじょ
本文カット：K．TEN
印刷：（有）あかつき印刷

次回（11月下旬発行予定）の『月刊うそ。』はッ！？

・ラブネゴ発売特集、街角勝ち抜きネゴバトル！
・根越栄太にベストジーニスト賞
・滝みゆきにベスト広報的に問題キャラ賞
・言いたいことはラップで言えっちゅーの
・今度こそ社員旅行？
・連載地獄に嬉しい悲鳴「なんだ普通の悲鳴と変わらないんですね」
・カタンは９５年のドイツゲーム大賞に輝いた名作です。
・え、リニューアル？
・バッティングは程々にね、いやホントに。
・社会鍋と没企画はコーナー縮小、存続危ぶまれない。
・文字数を守らない執筆陣に編集怒る「お前らだけＢ５にしてやるぅ〜」
・付けて欲しい初回特典アンケート募集中
・え、一般参加？
・すみません、サーバもうすぐ直ります（予定）
・グッズ第２弾ラインナップ発表
・以上、ＢＢＣニュースでした。